

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 英語

代表者 白岳小 学校

氏名 深見直彦

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【英語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○目標の示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に Our Goal として、各単元の学習目標が簡潔で具体的に提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 8: My Future, My Dream (p.72) 中学校生活や将来について考え、夢を発表しよう。</p>
開隆堂	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標が提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 10: I have a dream.(p.60) 将来の夢をしょうかいしよう。</p>
学図	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭にレッスンの目標として、各単元の学習目標が3つの観点で提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.103) レッスンの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来なりたいものをたずね、答える表現を聞き、言うことができる。また、それらの文を読み、書き写すことができる。 ・ 将来なりたいものやしたいことについて伝え、たずね合う。 ・ 自分から進んで、将来なりたいものやしたいことについて伝え、たずね合おうとする。
三省堂	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標が提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 6: I want to be a vet.(p.78,79) 将来つきたい職業と、その理由を伝えよう。</p>
教出	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標が提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.86,87) 将来の夢を発表しよう。</p>

光村	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に Goal として、各単元の学習目標が提示されている。その下に、Hop! Step1 Step2 Jump! の4段階に分けた目標が提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 8: What do you want to be?(p.94,95)</p> <p>なりたい職業をその理由を言って、将来の夢を発表することができる。</p> <p>Hop! 職業の言い方を知ろう</p> <p>Step1 なりたい職業を伝え合おう</p> <p>Step2 なりたい職業とその理由を伝えよう。</p> <p>Jump! 自分の将来の夢を発表しよう。</p>
啓林館	<p>【目標の示し方】</p> <p>○ 単元の冒頭に GOAL として、各単元の学習目標が提示されている。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 7: I want to be a vet.(p.74,75)</p> <p>将来つきたい職業とその理由を言えるようになるろう。</p>

【英語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
方 法	○文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4: Summer Vacations in the World.(p.34~ p.41) ○ Unit 6: Let's think about our food. (p.50~p.59) ○ Unit 7: My Best Memory(p.64~ p.71) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 7: My Best Memory Enjoy Communication(p.68) <p>小学校の「思い出アルバム」を作って紹介し合う活動が設定されている。</p> <p>My best memory is our school trip. We <u>went</u> to Kyoto in June. We <u>saw</u> many temples. I <u>enjoyed</u> talking with my friends.</p> <p>表記の仕方や活動の流れが統一されており、既習事項と比較しやすく、系統的に学習しやすい。</p>
開隆堂	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6: My Summer Vacation(p.28~p.32) ○ Lesson 9: My Favorite Memory(p.52~p.59) ○ Project 2: 感謝の気持ちを伝えよう。(p.75~p.79) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 9: My Favorite Memory Let's Read and Write2(p.58) <p>例を参考にして自分の「思い出絵本」を完成させる活動が設定されている。</p> <p>My name is Ono Miki. My favorite memory is the school trip. I <u>saw</u> beautiful arts in Nikko. I <u>enjoyed</u> shopping.</p> <p>様々な学習活動の中に、様々な過去形が使われている。</p>
学図	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 4: I went to my grandparents' house. (p.53~p.64) ○ Lesson 7: What's your best memory? (p.91~p.100) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 7: What's your best memory? Use & Check(p.98) <p>例文を指でなぞりながら聞いたり、例を参考に「小学校の思い出」をペアで伝えたりする活動が設定されている。</p> <p>Hi, I'm Kumi. My best memory is the music festival. I <u>enjoyed</u> singing.</p>

	<p>It <u>was</u> fun. Thank you. 単元末に読みもの教材が設定され、その中に過去形が使われている。</p>
三省堂	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 3: I went to Hawaii. (p.42~ p.51) ○ Lesson 5: It was green. (p.64~ p.73) ○ Presentation 2: My best memory is…(p.74~ p.76) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Presentation 2: My best memory is… JUMP 2 (p.76) <p>小学校の思い出を伝える「メモリーブック」を書き、それを使って伝える活動を設定している。</p> <p>In the second grade, we <u>went</u> to Nara. It <u>was</u> a great school trip. Do you remember? I <u>enjoyed</u> hiking. It <u>was</u> fun. Thank you. 過去形を学習する単元が連続して配列されている。</p>
教出	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 4: My Summer Vacation(p.44~ p.53) ○ Lesson 7: My Best Memory(p.74~ p.81) ○ Let's Read and Act 2.The Letter(p.82~ p.85) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 7: My Best Memory Let's Read and Write(p.78) <p>思い出の学校行事を読んだ後、書く活動を設定している。</p> <p>My best memory is the school trip. We <u>went</u> to Yokohama. We <u>ate</u> Chinese food. It <u>was</u> delicious. いくつかの単元終了後に読みもの教材が設定され、その中に過去形が使われている。</p>
光村	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4: My Summer Vacation(p.50~ p.57) ○ Unit 7: My Best Memory(p.80~ p.87) ○ Review : 世界の友達 2 (p.92,93) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit7 : My Best Memory Let's listen and read.(p.86) <p>小学校の思い出について、音声を聞きながら読む活動を設定している。</p> <p>My best memory is our music festival. We <u>played</u> the recorder. We <u>sang</u> a lot of songs together, too. It <u>was</u> fun.</p>

	<p>児童が学習した過去形を使いたくなるような自然な場面設定がされ、無理なく過去形を繰り返し学習しやすい。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名（過去形）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4: My summer vacation was great. (p.42~p.51) ○ Unit 5: What did you do last weekend? (p.52~p.61) ○ Unit 6: I enjoyed school. (p.62~p.71) ○ REVIEW2(p.72,73) <p>【第6学年「小学校の思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 6: I enjoyed school. Activity(p.69) 小学校の思い出を発表して、書く活動を設定している。 <p>My favorite memory is the school trip. It <u>was</u> great. We <u>went</u> to Miyagi. We <u>saw</u> Aoba Castle. We <u>ate</u> delicious food.</p> <p>過去形を学習する単元が連続して配列されている。</p>

【英語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③興味・関心を高めるための工夫
方 法	○単元の導入の工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Unit 8: My Future, My Dream(p.72,73)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてが示されており、中学校生活や働く人の写真やイラストが掲載されている。 ○ 二次元コードを活用し、中学生が中学校生活や将来の夢について語る映像を視聴する活動が設定されている。歌やチャンツなどの視聴覚教材もあり、それが読んだり書いたりする活動にもつながるように設定されている。
開隆堂	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Lesson 10: I have a dream.(p.60,61)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてが示されており、いろいろな職業がイラストと文字（職業名）で掲載されている。 ○ 二次元コードを活用して、会話を聞いたりゲームをしたりする活動が設定されている。
学図	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Lesson 8: What do you want to be?(p.103~p.105)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の冒頭に単元名、学習のめあて及び学習の進め方が掲載されている。(p.103) ○ 見開き2ページにわたって職業のポスターが貼られた黒板を子どもたちが眺めているイラストが掲載されており、それを見ながら単元の歌や単元の場面の英語を聞く活動が設定されている。(p.104,105)
三省堂	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Lesson 6: I want to be a vet.(p.78,79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてが示されており、いろいろな職業がパネルのようにイラストと文字（職業名）で掲載されている。 ○ 二次元コードを活用して、いろいろな職業が描かれた誌面を見ながら、場面で扱う表現を聞く活動が設定されている。
教出	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Lesson 8: What do you want to be?(p.86,87)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して、単元名や学習のめあてが示されており、8ヶ国の子どもが将来就きたい職業の写真や国旗のイラストとともに掲載されている。 ○ 世界の子どもたちの夢についてインタビュー映像を視聴する活動が設定されている。
光村	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Unit 8: What do you want to be?(p.94,95)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して単元名やめあてが示されており，職業体験ができる施設という設定のイラストが掲載されている。 ○ 場面の設定に合わせた映像を見ながら，会話を聞く活動が設定されている。
啓林館	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>Unit 7: I want to be a vet.(p.74,75)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページを活用して，単元名や学習のめあてが示されており，いろいろな職業がイラストと文字（職業名）で掲載されている。 ○ 将来の夢について話している会話を聞いて，誰がどんな職業に就きたいと思っているかを聞き取る活動が設定されている。

【英語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④単元等における振り返りの工夫
方 法	○単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元の内容に関連したテーマごとにスピーチが設定され、その振り返りを行う。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Check Your Steps 3: 寄せ書きのメッセージを伝えよう。(p.81)</p> <p>自分が行ったスピーチについて、2観点で振り返りを行う。</p> <p>ふり返ろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの内容は☆いくつ？ ・相手に伝える工夫は☆いくつ？ <p>短時間で振り返りができる。</p>
開隆堂	<p>【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 10: I have a dream.(p.67)</p> <p>その単元で学習したことについて、3観点で振り返りを行う。</p> <p>ふりかえりをしよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 将来なりたい職業をたずねたり答えたりする言い方がわかった。 2 将来なりたい職業を発表することができた。 3 将来なりたい職業を友だちにわかりやすく発表しようとした。 <p>短時間で、評価に関わる観点の振り返りができる。</p>
学図	<p>【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.111)</p> <p>その単元で学習したことについて、4観点で振り返りを行うとともに、自分の感想やこれからの目標を書く。</p> <p>Check Time Lesson 8 をふり返って当てはまる□に○を付けましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来なりたいものをたずね、答える表現について聞き、言うことができた。 ・将来なりたいものをたずね、答える文を読み、書き写すことができた。 ・将来なりたいものやしたいことについて伝え、たずね合うことができた。 ・自分から進んで、将来なりたいものやしたいことについて伝え、たずね合おうとした。 ・ひとこと <p>短時間で、評価に関わる観点の振り返りができ、さらに児童が記述もできる。</p>
三省堂	<p>【単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ いくつかの単元で学習したことをもとに、プレゼンテーションを2回行い、それぞれの振り返りを行う。</p> <p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p>

	<p>○ Presentation 3: I want to be a...(p.99,100) 自分が行った2回のプレゼンテーションについて、それぞれ3観点、2観点で振り返りを行う。 JUMP1 まとめとふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Goalは達成できましたか。よかったところはどこですか。 ・ 将来の夢を伝えるために、使う表現を選ぶとき、どことなくふうをしましたか。 ・ 次は、どことなくふうをして、活動したいですか。JUMP2につなげよう。 <p>JUMP2 まとめとふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HOP(77ページ)で立てた目標(My Goal)は達成できましたか。 ・ 中学校では、どことなくふうをして活動したいですか。 <p>全て記述式である。</p>
<p>教出</p>	<p>【单元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した单元ごとに振り返りを行う。 【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.93) その单元で学習したことについて、4観点で振り返りを行う。 Lesson 8をふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな職業名を、聞いたり言ったりすることができた。 ・ 将来つきたい職業の表し方を知って、聞いたり言ったりすることができた。 ・ 風船シートをつくって、将来の夢を発表することができた。 ・ 自分の夢を気持ちをこめて伝えようとしたり、友達の夢を聞いて応えんしようとしたりした。 <p>短時間で振り返りができる。</p>
<p>光村</p>	<p>【单元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 学習した单元ごとに振り返りを行う。 【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 8: What do you want to be?(p.101) その单元で学習したことについて、3観点で振り返りを行う。 ふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAN-DO：なりたい職業とその理由を言って、将来の夢を発表することができた。 ・ 考える：英語を使う仕事をしている人の映像を見て、どんなことに気がつきましたか。 ・ 深める：友達の夢を聞いて、自分の夢に向けてどんなことをがんばりたいと思いましたか。 <p>短時間で振り返りができる。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【单元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定】</p> <p>○ 单元を細かく分けたPartごとに振り返りを行うとともに、单元末に、学習した单元の振り返りを行う。 【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 7: I want to be a vet. (p.76,78,80,82) Partごとの達成度を3段階で振り返り、さらに、その单元で学習したことについて5観点で振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Part1~3 できたかな？

・ Looking Back Unit7 の学習をふり返りましょう。

1 自分がつきたい職業を言えるかな。

2 1の職業につきたい理由を言えるかな。

3 友だちに、つきたい職業をたずねられるかな。

4 Unit7 の学習中に「英語で言いたいけど言えなかった」ことや、「もっと知りたい」と思ったことを書いてみよう。

5 Unit7 で学習した英語をどんな場面で使いたいか書いてみよう。

観点での振り返りができ、さらに児童の記述もできる。

【英語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤単元の構成・配列の工夫
方 法	○単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Unit 8: My Future, My Dream(p.72~p.79)</p> <p>Starting Out ・聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read and Write① 読む, 書く ・ Small Talk 話す (やり取り) ・ Let's Try① 話す (やり取り) ・ Let's Read and Write② 読む, 書く ・ Sounds and Letters 聞く, 読む, 書く <p>Your Turn</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen① 聞く ・ Let's Try② 話す (やり取り) ・ Let's Read and Write③ 読む, 書く ・ Small Talk 話す (やり取り) ・ Let's Listen② 聞く ・ Let's Try③ 話す (やり取り) ・ Let's Read and Write④ 読む, 書く ・ Sounds and Letters 聞く, 読む, 書く <p>Enjoy Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Step1 聞く, 読む ・ Step2 書く, 話す (やり取り) ・ Small Talk 話す (やり取り) ・ Sounds and Letters 聞く, 読む, 書く ・ Step3 話す (発表) <p>Over the Horizon</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk 話す (やり取り) ・ Sounds and Letters 聞く, 読む, 書く <p>聞く8・読む9・話す(やり取り)8・話す(発表)1・書く9 見開きの各ページに聞く, 話す, 読む, 書く活動が豊富に配列されている。</p>
開隆堂	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 10: I have a dream.(p.60~p.67)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's listen1 聞く ・ Let's listen2 聞く ・ Let's play2 話す (やり取り) ・ Let's play3 読む ・ Let's play4 聞く ・ Let's play5 話す (やり取り) ・ Let's play6 ①話す (やり取り) ②話す (やり取り) ・ Let's listen3 聞く

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read and Write 読む, 書く ・ Let's Try 話す (発表) <p>聞く 4 ・ 読む 2 ・ 話す (やり取り) 4 ・ 話す (発表) 1 ・ 書く 1 聞く, 話す, 読む, 書く活動が配列されている。</p>
学図	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.103~p.111)</p> <p>L.8A ① 聞く ② (1) 聞く (2) Small Talk 話す (やり取り) ③ 読む ④ 書く</p> <p>L.8B ① 聞く ② 聞く ③ Small Talk 話す (やり取り) ④ (1) 読む (2) 書く</p> <p>Use & Check ① 聞く ② (1) 読む (2) 話す (発表) (3) 書く</p> <p>聞く 5 ・ 読む 3 ・ 話す (やり取り) 2 ・ 話す (発表) 1 ・ 書く 3 聞く, 話す, 読む活動のまとめとして書く活動を行うという構成が繰り返されている。</p>
三省堂	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 6: I want to be a vet.(p.78~p.87)</p> <p>STEP Part1 ・ Listen & Talk 聞く, 話す (やり取り) ・ Story 聞く</p> <p>Part2 ・ Listen & Talk 聞く, 話す (やり取り) ・ Enjoy Reading 読む</p> <p>Part3 ・ Listen & Talk 聞く, 話す (やり取り) ・ Talk to Friends 話す (やり取り) ・ Enjoy Listening 聞く ・ Write & Talk 書く, 話す (やり取り)</p> <p>○ JUMP Presentation3(p.98~p.100)</p> <p>JUMP1 話す (やり取り), 話す (発表) JUMP2 話す (やり取り), 話す (発表)</p> <p>聞く 5 ・ 読む 1 ・ 話す (やり取り) 7 ・ 話す (発表) 2 ・ 書く 1 聞く, 話す, 読む, 書く活動が配列されている。</p>
教出	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】</p> <p>○ Lesson 8: What do you want to be?(p.86~p.93)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's listen 聞く ・ Acitivity1 話す (やり取り) ・ Acitivity2 話す (やり取り) ・ Let's Read and Write 読む, 書く ・ Final Activity 話す (発表)

	<p>聞く1・読む1・話す(やり取り)2・話す(発表)1・書く1 聞く, 話す, 読む, 書く活動が配列されているが少なめである。</p>
光村	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】 ○ Unit 8: What do you want to be?(p.94~p.101)</p> <p>Step1 ・Let's listen. 聞く ・Let's Try. 話す(やり取り) ・Let's write. 書く</p> <p>Step2 ・Let's listen. 聞く ・Let's Try. 話す(発表) ・Let's write. 書く</p> <p>Jump! ・Let's listen and read. 読む ・You can do it! 話す(発表)</p> <p>聞く2・読む1・話す(やり取り)1・話す(発表)2・書く2 聞く, 話す, 読む, 書く活動が配列されているが少なめである。</p>
啓林館	<p>【第6学年「将来の夢」における具体例】 ○ Unit 7: I want to be a vet.(p.74~p.82)</p> <p>・Listen and Guess 聞く ・Jingle 聞く, 話す(発表)</p> <p>Part1 ・Listen and Play 聞く ・Jingle 聞く, 話す(発表) ・Chant 聞く, 話す(発表) ・Listen and Do 聞く ・Say and Write 話す(発表), 書く</p> <p>Part2 ・Listen and Do① 聞く ・Listen and Do② 聞く ・Chant 聞く, 話す(発表) ・Activity 話す(やり取り), 書く</p> <p>Part3 ・Listen and Do 聞く, 読む ・Activity 話す(発表), 書く</p> <p>聞く10・読む1・話す(やり取り)1・話す(発表)6・書く3 聞く, 話す, 読む活動のまとめとして書く活動を行うという構成が繰り返されている。</p>

【英語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫
方 法	○習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <p>○ 各単元の終末 Enjoy Communication において、「話す」活動が設定されている。また、3回の Check Your Steps でも、習得した知識・技能を活用するスピーチ活動が設定されている。</p> <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <p>○ Unit 4: Summer Vacations in the World(p.34~p.41)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Enjoy Communication 夏休みの思い出を紹介しよう。(p.38,39) 巻末コミュニケーションカード「夏休みの記録メモ」を作成し、それを基にグループで夏休みの思い出を伝え合う。 <p>○ Check Your Steps 2(p.60,61)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界と自分のつながりを紹介しよう Unit 4~6 の Enjoy Communication の活動で使ったコミュニケーションカードを基に、世界と自分のつながりを発見して紹介する。
開隆堂	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <p>○ 各単元の終末 Let's Try において、「話す」活動が設定されている。また、2回の Project で、習得した知識・技能を活用したクイズやスピーチ活動等が設定されている。</p> <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <p>○ Lesson 6: My Summer Vacation(p.28~p.32)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Try(p.32) 友達の子夏休みの思い出を紹介して、聞いた人はだれの思い出かを当てる。 <p>○ Project 2 感謝の気持ちを伝えよう。(p.75)</p>
学図	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <p>○ 各単元の終末 Use & Check や2回の Project Time において、習得した知識・技能を活用する活動が設定されている。</p> <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <p>○ Lesson 4: I went to my grandparents' house. (p.53~p.63)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Use & Check(p.62) 夏休みについての発表のモデルを聞いて、自分の夏休みの思い出を発表し、発表したことを書く。 <p>○ Project Time 2(p.133,134)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校の思い出を絵にかいたり、写真をはったりしてまとめ、見せながら発表する。
三省堂	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <p>○ 各単元で積み重ねてきたことを基に、3回の Presentation で習得した知識・技能</p>

	<p>を活用する「インタビュー・紹介」活動が設定されている。</p> <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 3: I went to Hawaii. (p.42~p.51) <ul style="list-style-type: none"> ・ JUMP 1 6年間の思い出を友達に伝えよう(p.74,75) ・ JUMP 2 小学校の思い出をメモリーブックを使って伝えよう(p.76) <p>巻末のメモリーブックに各学年の思い出を書き、それを基に自分の思い出を紹介する。</p>
教出	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の終末 Final Activity において、習得した知識・技能を活用する活動が設定されている。 <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 4: My Summer Vacation(p.44~p.53) <ul style="list-style-type: none"> ・ Final Activity (p.51) <p>完成した巻末ワークシートの絵日記を使って、夏休みの思い出を伝え合う。</p>
光村	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の終末 Jump!において、You can do it!として習得した知識・技能を活用する活動が設定されている。 <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4: My Summer Vacation(p.50~p.57) <ul style="list-style-type: none"> ・ Jump! ポスターを使って、夏休みの思い出を発表しよう。(p.56,57) ・ You can do it!(p.57) <p>夏休みの思い出について、誌面に記入してポスターを作り、友達に発表する。</p>
啓林館	<p>【習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の終末 Activity において、「話す」活動が設定されている。また、3回の Review で、「聞く」「読む」「話す」ことを通して、習得した知識・技能を活用する活動が設定されている。 <p>【第6学年「夏休みの思い出」における具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4: My summer vacation was great.(p.42~p.50) <ul style="list-style-type: none"> ・ Activity(p.49) <p>夏休みの思い出を絵日記にかき、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Review 2(p.72,73) <p>行ったところや食べたもの、感想などを聞いて、質問したり、自分のことを言ったりして会話を続ける。</p>

【英語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト，写真等の活用
方 法	○キャラクターやマーク等の活用及び多様な I C T 環境への対応

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「主な登場人物」として，6人の人物を紹介し，2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また，5領域に関連した活動の種類を示すマークとキャラクターを設定したり，他教科に関連した内容を示す記号を設定したりして，紙面に明示している。</p> <p>【多様な I C T 環境への対応】</p> <p>○ 「Let's Listen」等，実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また，単元の学習に関連した音声や映像等を web 上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。</p>
開隆堂	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「おもな登場人物」として，7人の人物を紹介し，2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また，英語を書くときのポイントをアドバイスするキャラクター（鉛筆）等を設定している。さらに，5領域に関連した活動の種類を示すマークや他教科等との横断的な学習を示す記号を設定し，紙面に明示している。</p> <p>【多様な I C T 環境への対応】</p> <p>○ 「Let's Listen」等，実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また，単元に関連した語句や表現・アニメーションを web 上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。</p>
学図	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に8人の人物を紹介しており，2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。さらに，5領域に関連した活動の種類を示すマークや他教科等との横断的な学習を示す記号を設定し，紙面に明示している。</p> <p>【多様な I C T 環境への対応】</p> <p>○ 「Let's Listen」等，実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また，単元の学習に関連した音声を web 上で聞くことができる二次元コードを全体にわたって示している。</p>
三省堂	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「主な登場人物」として，6人の人物を紹介しており，2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また，児童の理解をサポートするキャラクターを設定している。さらに，5領域に関連した活動の種類を示すマークやミニ情報などを示す記号を設定し，紙面に明示している。</p> <p>【多様な I C T 環境への対応】</p> <p>○ 「Listen & Talk」等，実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また，単元の学習に関連した語句や表現を web 上で聞くことができる二次元コードを</p>

	全体にわたって示している。
教出	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 第5学年の最初の単元に10人の人物を紹介し、第6学年には新しい担任と転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、様々な活動の種類を示すマークやキャラクターを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【多様なICT環境への対応】</p> <p>○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また、学習に役立つ情報を「学びリンク」としてweb上で見ることができるURL及び二次元コードを巻頭に示している。</p>
光村	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 第5学年の巻頭に「主な登場人物」として、7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介し、第6学年には新たに転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、様々な活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【多様なICT環境への対応】</p> <p>○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また、単元の学習に関連した音声や映像等をweb上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。</p>
啓林館	<p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <p>○ 巻頭に「登場人物」として、9人の人物と2羽の鳥を紹介して、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5領域に関連した活動の種類を示すマークや短時間で終わり繰り返し学習してほしい演習を示すモジュールマークを設定し、紙面に明示している。</p> <p>【多様なICT環境への対応】</p> <p>○ 「Listen and Say」等、実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また、単元の学習に関連した単語や表現をweb上で聞くことができる二次元コードを全体にわたって示している。</p>

【英語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧巻末資料, 付録等の工夫
方 法	○巻末資料, 付録等の内容

発行者	調査・研究内容 (○内の数字は, ページ数量)
東書	<p>【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STORY TIME① ・ローマ字表 (へボン式) ① ・Sounds and Letters⑩ ・巻末絵カード② ・巻末コミュニケーションカード② ○ 巻末資料 ・アルファベットの書き方① ○ 別冊 ・Picture Dictionary (5・6年で1冊 50ページ) <p>【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STORY TIME② ・Make an Original Song! ② ・Sounds and Letters⑥ ・Let's Read and Write④ ・巻末絵カード① ・巻末コミュニケーションカード③ ○ 巻末資料 ・アルファベットチャート① ○ 別冊 ・Picture Dictionary (5・6年で1冊 50ページ) <p>絵カードに個別のミシン目が入っている。別冊の英単語が4線表記になっている。</p>
開隆堂	<p>【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふろく1 発音クリニック② ・ふろく2 この教科書で学んだことリスト⑥ ・ふろく3 単語リスト⑥ ・ふろく4 絵カード⑧ ・ふろく5 ローマ字表 (へボン式) ① ・ふろく6 アルファベット (パソコンキーボードに対応) ② <p>【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふろく1 中学校へつなげよう⑧ ・ふろく2 発音クリニック② ・ふろく3 この教科書で学んだことリスト⑥ ・ふろく4 単語リスト① 5年生⑤ ・ふろく5 単語リスト② 6年生⑤ ・ふろく6 絵カード⑧ ・ふろく7 ローマ字表 (へボン式) ① ・ふろく8 アルファベット (パソコンキーボードに対応) ② <p>絵カードの裏に記名スペースがあり, 紛失予防ができています。</p>
学図	<p>【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Songs for Lessons⑤ ・Word List⑧ ・練習コーナー② ・ローマ字表① ・世界の友達② <p>【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Songs for Lessons⑤ ・Word List⑧ ・練習コーナー② ・ローマ字表① ・英語で発表ができるようになったよ! ② <p>Songs for Lessons が豊富である。</p>
三省堂	<p>【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふろく ・日本, 大発見② ・CAN-DO リスト① ・アルファベット② ・英語の文字② ・この日本語, どこから来たの? ② ・英語が話されている国ぐに② ・Words & Phrases⑩

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生で学習した主な表現① ○ 別紙 ・日本語のローマ字表 (ヘボン式) ① ・アルファベット表① ・アルファベットカード④ ・時差時計① 【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】 ○ ふろく ・世界のまつり② ・CAN-DO リスト① ・Alphabet② ・「ことば」のおはなし② ・世界の小学校② ・Words & Phrases② ・ 6年生で学習した主な表現① ○ 別紙 ・日本語のローマ字表 (ヘボン式) ① ・アルファベット表① ・Memory Book 台紙① ・絵日記台紙② ・プロフィールカード台紙① ・お助け表現集① <p>Words & Phrases が豊富である。</p>
教出	<ul style="list-style-type: none"> 【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】 ・ My Word Bank⑥ ・ Let's Enjoy the Music① ○ 巻末資料 ・ Supermarket Jingle① ・アルファベット表① ・ローマ字表 (ヘボン式) ① ・ Forest Jingle① ・活動用シール② ・ワークシート④ ・絵カード④ 【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】 ・ My Word Bank⑥ ・ Let's Enjoy the Music① ○ 巻末資料 ・ Food Festival Jingle① ・アルファベット表① ・ローマ字表 (ヘボン式) ① ・ City Jingle① ・ワークシート⑨ ・絵カード③ ・ My Book① <p>絵カードに個別のミシン目があり, 授業ですぐ活用できるワークシートがある。</p>
光村	<ul style="list-style-type: none"> 【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】 ・絵辞典⑭ ・ 5年生で学習した表現② ・ Sounds and Letters② ・ Let's play sugoroku③ ・ 学びのパスポート① ・ローマ字の表 (ヘボン式) ① ○ 巻末 ・絵カード⑧ ・ペンマンシップ・シート① ・シール① ・アルファベット表① 【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】 ・絵辞典⑱ ・ 6年生で学習した表現② ・ Sounds and Letters② ・ Let's play sugoroku③ ・ 学びのパスポート① ・ローマ字の表 (ヘボン式) ① ○ 巻末 ・絵カード⑧ ・ペンマンシップ・シート① ・シール① ・アルファベット表① <p>絵辞典が豊富で, 水性マーカーで何度でも書けるペンマンシップ・シートがある。</p>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 【巻末資料, 付録等の内容 第5学年】 ・ Word List⑱ ・アルファベット表① ・教科書に出てきた英語の歌① ・ Can-Do List① ・絵カード⑧ 【巻末資料, 付録等の内容 第6学年】 ・ Word List⑲ ・アルファベット表① ・ヘボン式ローマ字表①

・ Can-Do List① ・ 絵カード⑧

Word List が豊富で、絵カードも個別のミシン目が入っている。

【英語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨児童の身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
方 法	○主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1: Hello, friends.(p.10~p.15) ○ Unit 3: What do you want to study?(p.26~p.31) ○ Unit 8: Your Turn・Let's Listen 1 & Let's Try 2(p.76~p.77) <p>各ユニットとも Starting Out ⇒ Your Turn ⇒ Enjoy Communication という流れで活動が有機的に配列されていて効果的な指導ができる。</p>
開隆堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1: Nice to meet you.(p.6~p.11) ○ Lesson 3: What do you have on Mondays?(p.18~p.25) ○ Lesson 6: My Hero(p.48~p.55) <p>Lesson の中に様々な活動が取り入れられていて楽しく学習できる。</p>
学図	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1: What sport do you like?(p.22~p.31) ○ Lesson 5: What time do you get up on Sundays?(p.70~p.77) ○ Lesson 9: Where do you want to go?(p.118~p.125) ○ Lesson 10: Who is your hero?(p.128~p.135) <p>Lesson ごとに「聞く」「話す」「書く」が少しずつ取り入れられている。</p>
三省堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Presentation 1: This is me.(p.36~p.38) ○ Lesson 5: I play soccer on Mondays.(p.62~p.71) ○ Presentation 2: He is a music teacher.(p.72~p.74) <p>Presentation はコミュニケーションに向けて分かりやすく活動が配列されている。</p>
教出	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1: Nice to meet you.(p.14~p.23) ○ Lesson 3: I have P.E. on Monday.(p.34~p.43) <p>聞く活動にポイントを置きながら活動が配列されている。</p>
光村	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1: Hello, everyone.(p.20~p.27) ○ Unit 5: He can run fast. She can do <i>kendama</i>.(p.62~p.69) ○ Unit 6: I want to go to Italy.(p.72~p.79) <p>各 Lesson で段階的に活動が配列されていてステップを確認しながら学習できる。</p>
啓林館	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2: I study math on Monday.(p.20~p.28) <p>聞く活動にポイントを置きながら活動が配列されている。</p>

【英語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩対話的な学びを促す言語活動の充実
方 法	○自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Check Your Steps 1: 外国の人に自己紹介しよう(p.34,35) <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 1~Unit 3 で学習した内容 (好きなこと・もの, 誕生日, なりたい職業など) を活用して自己紹介のスピーチをする。 ○ Check Your Steps 2: 地域のおすすめを紹介しよう(p.62,63) <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 4~Unit6 で学習した内容 (身近な人紹介, 町にあったらよい場所, ふるさとメニューなど) を活用して自分の暮らす地域のおすすめのスピーチをする。 ○ Check Your Steps 3: 「日本のすてき」を紹介しよう(p.82,83) <ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 7~Unit 8 で学習した内容 (日本の四季や文化の紹介, 自分にとってのヒーローなど) を活用して「日本のすてき」を紹介するスピーチをする。 <p>2~3つの Unit で学習した内容を活用して自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が Check Your Steps という形で仕組まれており, 表現の定着がスムーズにはかれる。</p>
開隆堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Project 1: パーティーを楽しもう(p.33~p.37) <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なゲームやクイズでイングリッシュ・パーティーをする。 ○ Project 2: 自分のことを伝えよう(p.75~p.79) <ul style="list-style-type: none"> ・ カードを作ってお互いに自己紹介をする。 <p>Project 1 はゲームやクイズがもりだくさんなので, 楽しく自分の考えや気持ちを伝え合う活動ができる。</p>
学図	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Project Time ① 自己紹介(p.79,80) <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな教科やスポーツなどを中心に自己紹介する。 ○ Project Time ② 知人紹介(p.137,138) <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている人について, 好きなことやできることを中心に紹介する。 <p>発表用シートを活用して自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を組むことができる。</p>
三省堂	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Presentation 1: This is me.(p.36~p.38) <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの友達や先生に, 自分のことを伝える。 ○ Presentation 3: Mt. Fuji is beautiful.(p.100~p.102) <ul style="list-style-type: none"> ・ おすすめ(場所・こと・もの)と, その理由を伝える。 <p>コミュニケーションに向けて分かりやすく自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動が配列されている。</p>

<p>教出</p>	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 –Final Activity(p.20) <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや、好きなもの、欲しいものを伝える。 ○ Lesson 4 –Final Activity(p.53) <ul style="list-style-type: none"> ・自由な1日があったらどのように過ごしたいかを伝える。 ○ Lesson 6 –Final Activity(p.77) <ul style="list-style-type: none"> ・外国の友達と一緒に行ってみたい都道府県について伝える。 ○ Lesson 9 –Final Activity(p.109) <ul style="list-style-type: none"> ・友達になりたい人を紹介する。 <p>Lesson ごとに Final Activity が配置されていて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が仕組まれている。</p>
<p>光村</p>	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 –You can do it!: 名刺交換をして自己紹介し合う。(p.27) <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 で学習した内容(名前や好きなこと)を活用して自己紹介をする。 ○ Unit 6 –You can do it!: 「一日親善大使」になってその国の魅力を伝える。(p.79) <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 6 で学習した内容(行きたい国やそこでできること)を活用してその国の魅力を伝える。 ○ Unit 9 –You can do it!: 自分のあこがれの人について紹介し合う。(p.113) <ul style="list-style-type: none"> ・Unit9 で学習した内容(職業や性格をいう)を活用して自分のあこがれの人を紹介する。 <p>Unit ごとに You can do it!が配置されていて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が仕組まれている。</p>
<p>啓林館</p>	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2: I study math on Monday.(p.20~p.28) <ul style="list-style-type: none"> ・Activity 友だちに好きな教科とその理由をたずねる。 ・Activity 夢の時間割を作りたずね合う。 ○ Unit 6: I want to go to France.(p.62~p.70) <ul style="list-style-type: none"> ・Activity 友だちに行きたい国とその理由をたずねる。 ・Activity 自分の行きたい国に友だちをさそう。 <p>Unit ごとに Activity が配置されていて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が仕組まれている。</p>

令和元年 7 月 30 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 特別の教科 道徳

代表者 呉市立本通小学校

氏名 中下 正美

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【種目名】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①道徳科の学び方等の示し方
方 法	○オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【タイトル】「これから一年かんで学ぶこと」 ○示し方：見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名が示されている。 ○記載例：「じぶんのこと」(第2学年) ・よいこと, わるいこと「わすれられないえがお」 ・正直なところで「さるへいと立てふだ」</p> <p>【タイトル】「どうとくの学しゅうをすすめるために」 ○示し方：見開き2ページに、道徳の学習の流れを「1気づく」「2かんがえる はなしあう」「3ふりかえる 見つめる」「4生かす」の四つで示されている。また、左ページ下には「はなしあいのやくそく」が示されている。 ○記載例：「さあ、二年生のどうとくの学しゅうをはじめよう。どうとくは、ここらについてかんがえるじかんだよ。おもったことを すなおにはなそう。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくの じかんが はじまるよ」 ○示し方：見開き2ページに、道徳での六つの学習活動をイラストで示されている。 ○記載例：「いろいろな学しゅうのしかたがあるね。なにをしているのかな。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「ちょっとみんなで はなしあってみよう」 ○示し方：折り込みに、ショートストーリーを基に、話し合う視点が示されているとともに、自分の考えを書く欄が2か所設けられている。 ○記載例：「どうしたら いいのかな。」「だいじょうぶかな。」(第2学年)</p>
学図	<p>【タイトル】「どうとくの学しゅうをはじめよう」 ○示し方：見開き2ページに、道徳の学習活動のイラストや吹き出しを使い、考える視点等が示されている。 ○記載例：「お話の中の人ぶつになって考えてみましょう。」 「お話して、気がついたことはなんでしょうか。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「学級づくり」 ○示し方：見開き2ページに、意見を言う環境づくりの活動が示されている。 ○記載例：「お友だちと話すとき、あいてのお話を聞くことは、話し合いがうまくいくための『ひけつ』です。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「教科書『まなび』のつかい方」 ○示し方：別冊「まなび」の見開き2ページの右ページには、別冊「まなび」の使い方が示されている。</p>

	<p>○記載例：「考えるための？がたくさんあるよ。」(第2学年)</p> <p>○示し方：別冊「まなび」の見開き2ページの左ページには、「きづく」「かんがえよう」「みつめよう」の三つの学習活動がイラストとともに示されている。</p> <p>○記載例：「たくさんかいて、せかいに一つだけの自分の教科書をつくろう！」(第2学年)</p>
教出	<p>【タイトル】「二年生のどうとくの学しゅうがはじまるよ」</p> <p>○示し方：見開き2ページの右ページには、道徳の学習では、どのような学び方を示されている。</p> <p>○記載例：「みなさんのお友だちにはどんな人がいますか。どうとくでは、みなさんの気もちや考えを、お友だちといっしょにはっぴょうしたりしつもんしたりしながら、話し合いをします。その話し合いをとおしてお友だちといっしょに心をみがきます。」</p> <p>「これから一年間、いっしょにがんばろう」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくではこんな学しゅうをするよ」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、キャラクターやイラストを使い、道徳の学習の流れが「気づく」「考える」「ふかめる」「つなげる」の四つで示され、「話し合って考えよう」「やくになって考えよう」の二つの学習活動が示されている。</p> <p>○記載例：「じゅぎょうで考えたいことはなんだろう。」(第2学年)</p>
光村	<p>【タイトル】『「どうとくの時間」は、今よりもっとよい生き方ができるよう考えていく時間です。』</p> <p>○示し方：見開き2ページに「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」という四つの学習活動について、イラストや吹き出しを使い、考える視点が示されている。</p> <p>○記載例：「さまざまな考え方があることを、大切にしていこう。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】『「道徳の時間」に、みんなで考えていこう』</p> <p>○示し方：見開き2ページに、四つの視点と1年間に学ぶ内容項目と教材名が示されている。</p> <p>○記載例：「考えたことは、毎日の生活の中で生かしていこう。」(第4学年)</p>
日文	<p>【タイトル】「どうとくのどびら」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目が示されている。また、キャラクターの吹き出しの中に、道徳科の意義について示されている。</p> <p>○記載例：『「どうとく」では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。』</p> <p>「みんなで考えたことを生かして、もっとすてきな自分になろうね。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくの学びかた」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、イラストや写真を使い、道徳の学び方を「1気づく」「2考える・ふかめる」「3見つめる・生かす」の三つで示されている。</p> <p>○記載例：「よりよく生きるためにたいせつなことについてどのように考えればいいのか。」(第2学年)</p>

	<p>○示し方：「話し合ってみよう」「うごいてみよう」「書いてみよう」の三つの学習活動が写真とともに示されている。</p> <p>○記載例：「ぼくとはすこしちがう考えだな。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくノートのつかい方」</p> <p>○示し方：別冊「どうとくノート」の「もくじ」の下段に、どうとくノートの使い方が示されている。</p>
光文	<p>【タイトル】「さあ、どうとくのがくしゅうがはじまります」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、四つの視点ごとに、道徳の学習で学ぶ内容が示されている。</p> <p>○記載例：「どうとくのがくしゅうでは、こんなことをかんがえます。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「どうとくのがくしゅうでは、こんなかんがえです」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、イラストを使い、道徳の学び方が「といを見つける」「考える」「まとめる」の三つで示されている。</p> <p>○記載例：「どうとくのがくしゅうでは、みんなとはなしあい、よくかんがえましょう。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「いろいろな場面で」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、道徳で学習したことが生活に生かされる流れで示されている。</p> <p>○記載例：「せいかつの中でも、かんがえたりやってみたりしましょう。」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「この本のつかいかた」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、教科書の使い方やどうとくのノートの例が示されている。</p> <p>○記載例：とい「このはなしで、かんがえたいことがかいてあります。」(第2学年)</p>
学研	<p>【タイトル】「道徳の学習が始まるよ」</p> <p>○示し方：見開き2ページの上段に、四つの視点で考えを深めるポイントが示されている。</p> <p>○記載例：「どうとくの時間はね・・・。」「自分のことを考えるよ。」 「しぜんやどうぶつのいのちのことを考えるよ。」(第2学年)</p> <p>○示し方：見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「1お話をもとに考えよう。」「2話し合い高めよう。」「3自分を見つめ深めよう。」の三つの学習活動が示されている。</p> <p>○記載例：「登場人物になりきって考えてみよう。」 「みんなの考えをよく聞いて自分の考えをもっとふくらませよう。」 「友達の間を見て話そう。」(第4学年)</p> <p>【タイトル】「ゆたかな心をそだてよう」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名が示されている。</p> <p>○記載例：わたしのこと「正しいことを ゆうきをもって」「雨上がり」(第2学年)</p>

	<p>【タイトル】「自分のことを書いてみよう」</p> <p>○示し方：見開き2ページに、自分の「好きな食べ物」「好きなあそび」等8項目について書く欄が設けられている。</p> <p>○記載例：「1年前の自分とくらべてみよう。」(第2学年)</p>
<p>廣 あかつき</p>	<p>【タイトル】「どうとくの時間はこんな時間」</p> <p>○示し方：1ページに、子供の写真2枚とイラストとともに、道徳の時間の意義について示されている。</p> <p>○記載例：「どうとくの時間は自分の心をしっかりとそだてる楽しい時間です。」(第2学年)</p> <p>○示し方：見開き2ページに、道徳の学習について、六つの学習活動が示されている。</p> <p>○記載例：「自分のかんじたことや考えたことをつたえましょう」 「ともだちのはっぴょうをよく聞きましょう」 「いろいろな答えがあります」 「みんなで考えて話し合しましょう」 「自分を見つめましょう」 『どうとくノート』に書きましょう」(第2学年)</p> <p>【タイトル】「今の自分を見つめて」</p> <p>○示し方：別冊「どうとくノート」に、自分の「一番うれしかったこと」「とくいなこと」「二年生でできるようになりたいこと」等6項目についての書きこみ欄が設けられている。</p>

【道徳】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②発問の工夫
方 法	○記載箇所, 数, 記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○記載箇所：教材文の終わり</p> <p>○数：1～4（主に2）</p> <p>○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」, 主題名「やくそくやきまり」 内容項目「C 規則の尊重」(第4学年) 「考えよう①」「考えよう②」のコーナーに, キャラクター「こころん」とともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らぬふりをして, まどの外をじっと見ているお母さんの横顔を見て, よし子はどんなことを思ったでしょう。 ・乗り物などをりようするとき, どんなことに気をつければよいと思いますか。
学図	<p>○記載箇所：別冊「まなび」の中</p> <p>○数：2または3（主に2）</p> <p>○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」, 主題名「みんなが気持ちよく」 内容項目「C 規則の尊重」(第4学年) よし子やお母さんのイラストや「かんがえよう」「みつめよう」マークとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたことについて, よし子さんはどのように考え始めたのでしょうか。 ・みんなが気持ちよくすごすために必要なきまりやマナーについて考えましょう。
教出	<p>○記載箇所：冒頭の教材名の下</p> <p>○数：1</p> <p>○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」, 主題名「社会のきまりを守って」 内容項目「C 規則の尊重」(第4学年) キャラクター「とりどり先生」とともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会にはいろいろなきまりがあるね。きまりって, どうしてあるのだろう。 <p>内容項目「C 規則の尊重」(第4学年)</p> <p>○記載箇所：教材文の終わり</p> <p>○数：3～5</p> <p>○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 「考えよう」のコーナーに記載されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗ろうとしてお母さんに引きもどされたとき, よし子さんはどんな気持ちだったでしょう。 ・だまったままのお母さんの横顔を見て, よし子さんはどんなことを思ったでしょう。 ・よし子さんのしたことの何が問題だったのかを考え, 話し合しましょう。 <p>「深めよう」のコーナーに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がよし子さんだったらどうしますか。また, そのわけも考えてまとめましょう。

<p>光村</p>	<p>○記載箇所：冒頭の教材名の下 ○数：1 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 キャラクター「こころん」とともに記載されている。 ・みんなが、順番を待ってならぶのは、どんなとき？</p> <p>○記載箇所：教材文の終わり ○数：2～4 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 「考えよう・話し合おう」のコーナーに、「みんなが気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切なのでしょう。」というめあてとともに記載されている。 ・お母さんにならんでいたところまで連れていかれたとき、よし子は、どう思ったでしょう。 ・お母さんの横顔を見ながら、よし子は、自分のしたことを、どう考えていたでしょう。 ・みんなが気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切なのでしょう。 「つなげよう」のコーナーに、キャラクター「きらりん」とともに記載されている。 ・みんなが使う場所や乗り物を利用するとき、どんなことに気をつけるといいかな。</p>
<p>日文</p>	<p>○記載箇所：冒頭の教材名の下 ○数：1 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」、主題名「みんなが気持ちよく」 内容項目「C 規則の尊重」(第4学年) キャラクター「ココロウ」とともに記載されている。 ・「きまり」と聞くと、どんなイメージを持ちますか。</p> <p>○記載箇所：教材文の終わり ○数：2 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 「考えてみよう」のコーナーに、キャラクター「あかね」とともに記載されている。 ・でいりゅう所にいた人たちみんなが気持ちよくバスに乗るために、よし子はどのように考えればよかったのだろう。 「見つめよう 生かそう」のコーナーに、キャラクター「はるひと」とともに掲載している。 ・みんなが気持ちよく生活するために、どんなことに気をつけたいと思うかな。</p> <p>○記載箇所：教材文に続く見開き2ページ ○数：3～5 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 キャラクター「ココロウ」とともに「学習の手引き」に記載されている。 ・みんなが楽しく生活することについて、考えてみよう。 「問題をつかもう。」よし子とお母さんのイラストとともに記載されている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・よし子の行動の何がいけなかったのでしょうか。また、そのわけも考えてみましょう。 <p>「問題について考えよう。」児童4人がグループで話し合っている写真とともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よし子、お母さん、ならんでいる人、それぞれの立場の気持ちを考えてみましょう。となりどうしやグループで話し合ってみましょう。 <p>「問題の解決をめざそう。」ていりゅう所にいる人たちのイラストとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていりゅう所にいた人たちみんなが気持ちよくバスに乗るために、よし子はどのように考えればよかったですのでしょうか。 <p>「見つめよう 生かそう」のマークとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが気持ちよく生活するために、どんなことに気をつけたいと思うかな。 <p>○記載箇所：別冊「道徳ノート」の中 ○数：1 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 ていりゅう所にいた人たちのイラストとともに記載されている。 ・ていりゅう所にいた人たちみんなが気持ちよくバスに乗るために、よし子はどのように考えればよかったですのでしょうか。</p>
<p>光文</p>	<p>○記載箇所：冒頭の教材名の横 ○数：1 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」、主題名「社会のきまり」 内容項目「C 規則の尊重」（第4学年） 主題名とともに記載されている。 ・わたしたちのまわりには、さまざまなきまりがあります。きまりは何のためにあるのでしょうか。</p> <p>○記載箇所：教材文の下段 ○数：1～4 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 キャラクター「ゆたかさん」の吹き出しに記載されている。 ・よし子さんがしたことは、ルールいはんなのかな。 キャラクター「トーリー」の吹き出しに記載されている。 ・他の人たちはよし子さんの行動を見て、どんなことを思ったのでしょうか。 キャラクター「みらいさん」の吹き出しに記載されている。 ・なぜお母さんは、だまったままでいるのだろうか。 キャラクター「わんだ先生」の吹き出しに記載されている。 ・よし子さんは、お母さんの横顔を見て、どんなことを考え始めたのかな。</p> <p>○記載箇所：教材文の終わり ○数：2 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」 「まとめるマーク」とともに記載されている。 ・社会のきまりは何のためにあるのか、あらためて考えましょう。</p>

	<p>「広げるマーク」とともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のきまりを守るとどんなよいことがあるか、話し合みましょう。
学研	<p>○記載箇所：教材文の終わり ○数：1または2（主に2）</p> <p>○記載箇所：教材文に続く1ページ ○数：3または4 ○記載例：【教材名】「雨のバス停留所で」、主題名「きまりやマナーをまもろう」 内容項目「C 規則の尊重」（第4学年）</p> <p>「深めよう」のコーナーに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりやマナーについて考えよう。 <p>「つかもう」に記載されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの中でお母さんの横顔を見ていたよし子さんは、どんなことを考えていたでしょう。よし子さんの立場で、きまりやマナーを考えよう。 <p>「さがそう」に女の子のイラストとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは、どちらの場合が多いですか。一人でも、決まりやマナーは守るよ。一人くらい守らなくたってだいじょうぶ。 <p>「ふみ出そう」にグループで話し合っている児童のイラストとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりやマナーはなぜ必要なのか、考えてみましょう。グループや学級で、考えたことを話し合ってみましょう。
廣 あかつき	<p>○記載箇所：教材文の終わり ○数：2～5 ○記載例：【教材名】「雨のバスでいりゅう所で」、主題名「いつもとちがう母の顔」 内容項目「C 規則の尊重」（第4学年）</p> <p>「考えよう話し合おう」の「学習の道すじ」のコーナーに、「バスでいりゅう所でよし子さんがとった行動を通して、きまりを守ることの大切さについて考える。」というめあてとともに記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんがとてもこわい顔をしていたのはどうしてでしょう。 ・お母さんの横顔を見て、よし子さんは自分のしたことをどのように考えたのでしょうか。 ・よし子さんに何か言ってあげるとしたら、あなたならなんと声をかけますか。 ・生活の中には、どんなきまりがありますか。それは何のためにあるのでしょうか。 <p>○記載箇所：別冊「道徳ノート」の中 ○数：1または2 ○記載例：タイトル「社会のきまりを守って」の中に記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりがなかったら、わたしたちのくらす町は、どうなるのでしょうか。

【種目名】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方 法	○問題解決的な学習の扱い，教材名・内容項目・問題意識のもたせ方，発問の具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年は，冒頭の教材名の下に「はじめに」で課題が提示されている。 ○ 中学年からは，問題を見つけて考える教材には，目次及び該当ページにマークを付けて示され，教材の終わりに，問題を解決するための「考えるステップ」が設けられている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のもたせ方】（6 学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「タマゾン川」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「とびらページ」に，川の写真とともに「この川になにがおこっているのだろうか？」と示されている。 ○ 外来種によって生体系が破壊されていることを基に，自然とのふれ合い方について考えさせるよう示されている。 <p>【発問の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えるステップ」に記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼えなくなった生き物を多摩川へにがす人の気持ちについて考えましょう。 ・ 「タマゾン川」は どうして生まれるのでしょうか。 ・ 自然や生き物とふれ合ううえで，大切にしたい心とはなんのでしょうか。 ・ あなたが考える，解決していく必要のある自然環境の問題はなんですか。
学図	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習に適した教材は，別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」のマークとともに示されている。 ○ 別冊「まなび」を見て，教材に取り組む構造。全部の教材に示されている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のもたせ方】（6 学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「青の洞門」 ○ 「D 感動，畏敬の念」 ○ 実之助のこみ上げる思いを考えるを通して，大いなる美しさや偉大さに出会った時の，感動し，ゆり動かされる気持ちを考えるよう示されている。 <p>【発問の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」と「みつめよう」のマークとともに記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正座し，目を閉じる了海を前に，実之助はどのような思いがこみ上げてきたでしょう。 ・ 人の心を動かすのはどのようなものでしょう。
教出	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに「考えよう」「深めよう」の「学びの手引き」が設けられている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のもたせ方】（6 学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「手品師」

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「A 正直, 誠実」 ○ 「誠実」とは, ということなのかを冒頭で問いかけてから教材文に入り, 自分たちがこれから生きていくために必要なことだと考えるように示されている。 【発問の具体例】 ○ 「考えよう」「深めよう」の「学びの手引き」に記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・友人からステージへの出演の電話を受けたとき, 手品師はどのようなことを考えたでしょう。 ・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。 ・誠実に生きるとは, どのようなことでしょう。自分の考えをまとめて発表しましょう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> 【問題解決的な学習の扱い】 ○ 問題解決的な学習ができるよう, 教材の終わりに「考えよう・話し合おう」のコーナーを設け, 学習のめあてや課題と向き合える言葉が示されている。 【教材名・内容項目・問題意識のめあて】(6 学年) ○ 「手品師」 ○ 「A 正直, 誠実」 ○ 冒頭の教材名の横に, キャラクターの吹き出しで, 「だれかと約束したのに守れなかったことって, ある?」と示されている。 ○ 手品師の気持ちや行動を考えることを通して, 「誠実に生きる」とはということかを考えさせるよう示されている。 【発問の具体例】 ○ 「考えよう・話し合おう」のコーナーに, 「『誠実に生きる』とは, ということだろう」というめあてと一緒に記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・友人の「いい話」を聞きながら, 手品師は, どんなことを思っていたのでしょうか。 ・手品師は, どうしてたった一人のお客さまの前で手品をするを選んだのでしょうか。 ・あなたは, 「誠実に生きる」とは, どのような生き方のことだと思いますか。
日文	<ul style="list-style-type: none"> 【問題解決的な学習の扱い】 ○ 問題解決的な学習ができる教材には, 目次に虫めがねのマークを付けて示し, 教材の終わりに「教材の手引き」を設け, 学習展開例が示されている。 ○ 他の教材にも, 単元の最後に「考えてみよう」「見つめて生かそう」が記載されている。 ○ 別冊の「道徳ノート」の教材名の横にも問いなどが示されている。 【教材名・内容項目・問題意識のめあて】(6 学年) ○ 「青の洞門」 ○ 「D 感動, 畏敬の念」 【発問の具体例】 ○ 教材文の最後に記載している, 「学習の手引き」の中に, 「『美しい心』とは, どのような心なのだろう。」というめあてとともに, 「1 問題をつかもう。」「2 自分なりに考えよう。」「3 問題について話し合おう。」「4 問題を解決するときにはたいせつな考え方について話し合おう。」の順に記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・実之助の心の変化から, 「美しい心」とは, どのような心なのか考えてみましょう。 ・実之助の気持ちについて考えましょう。 ・グループになって, 自分の意見や考えをもとにみんなで話し合い, 実之助の心の

	<p>変化から、「美しい心」について明らかにしていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合ったことをもとに、「美しい心」とは、どのような心なのか、学級全体で話し合ってみましょう。
光文	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題の解決に取り組むことができるよう、どの学年も冒頭の教材名の横や下段の吹き出しなどに、問いが示されている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のめとせ方】（6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「青の洞門」 ○ 「D 感動、畏敬の念」 ○ 了海の心や行動を考えることを通して、見えない美しさについて考えさせるよう示されている。 <p>【発問の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の下段にキャラクターと吹き出しで記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・了海は、どうして、一人で岩かべに立ち向かう決心をしたのかな。 ・どうして19年間、休まずにほり続けられたのかな。 ・実之助の心を変えたものは、何だろう。
学研	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の前に主題名を示さないことで、特定の価値観を誘導しない展開にされている。 ○ 教材文の最後に「かんがえよう」で、他者と自己を見つめるコーナーが設けられている。 ○ 「深めよう」のコーナーを教材の終わりに設け、問題解決的な学習の道筋が示されている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のめとせ方】（6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「チョモランマ清掃登山隊」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「深めよう」のコーナーの中に、「つかもう」で「清掃登山を続ける野口さんを支えているのは、どんな思いだろう。」と示されている。 ○ 登山家の野口さんの体験と活動を通して、自然と共存するために必要なことについて考えさせるよう示されている。 <p>【発問の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう」のコーナーの中に、「自然と共存するために」というテーマとともに、「つかもう→探そう→ふみ出そう」の順に記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・チョモランマに捨てられたごみの写真を見て、どう感じましたか。 ・自然との共存のために、どんなことを大切にしたいと思いますか。 ・様々な命が生きる、かけがえのない地球。「自然とともに生きている」と感じたことを、みんなで話し合みましょう。 ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。
廣あかつき	<p>【問題解決的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう 話し合おう」のコーナーを設け、低学年では、教材をもとに考える問いや自己に照らし合わせて考える問いが示されている。中学年からは、「学習の道すじ」の中で、学習のめあて等が示されている。 <p>【教材名・内容項目・問題意識のめとせ方】（6学年）</p>

- 「手品師」
- 「A. 正直, 誠実」
- 「考えよう 話し合おう」の中に, 「手品師の迷いと決断を通して, 誠実であることのすばらしさについて考える。」と示されている。

【発問の具体例】

- 「学習の道すじ」にめあてとともに, 記載されている。
 - ・手品師は, どのようなことを考えて迷っていたのでしょうか。
 - ・手品師はどのように考えて, 友人のさそいをきっぱりと断ったのでしょうか。
 - ・「ぼくにとっては」という手品師の言葉の意味を, 生き方として考えてみましょう。
 - ・人に対して誠実に応えることができたとき, どんな気持ちになりますか。

【種目名】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④体験的な学習を取り入れた工夫
方 法	○体験的な学習の扱い，教材名等・内容項目・体験的な活動の概要，体験的な活動を促す具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <p>○ 「出会う・ふれ合う」のマークで，目次及び該当ページに示されている。 (各学年 2教材)</p> <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(3年)</p> <p>○ 『がんばっているでしょう』をあげよう</p> <p>○ 「A 希望と勇気，努力と強い意志」</p> <p>○ 友だちががんばっていることを見つける活動</p> <p>【体験的な活動を促す具体例】(3年)</p> <p>○ グループの友だちが努力して「がんばっているなあ。」と思うことを見つけ，シートに書く。</p> <p>○ グループで発表し合い，一人一人に「なにしょう」をあげるか決める。</p> <p>○ 「がんばっているでしょう」をあげたり，もらったりして感じたことを発表し合う。</p> <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(4年)</p> <p>○ 「あなたのやさしさにありがとう」</p> <p>○ 「B 友情，信頼」</p> <p>○ 友だちにやさしくしてもらったことを思い出し，『ありがとう』の気持ちを伝える活動</p> <p>【体験的な活動を促す具体例】(4年)</p> <p>○ グループの友だちみんなに，「やさしくしてくれてありがとうカード」を書く。</p> <p>○ 最初の人に，みんなから一人ずつカードを読んで渡す。目を見ながら気持ちをこめて伝える。</p> <p>○ 順番に交代して全員がカードをもらう。</p> <p>○ 活動を通して感じたことや気づいたことをシートに書き，発表し合う。</p>
学図	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <p>○ 「やってみよう」のマークで，別冊「まなび」の中に示されている。 (1・2年 1教材 4年 2教材 3・5・6年 3教材)</p> <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(3年)</p> <p>○ 「言葉のまほう」</p> <p>○ 「B 礼儀」</p> <p>○ 言い争いになった時と自分の悪さをみとめて声をかけ合った時を演じて，気持ちのちがいを考える活動</p> <p>【体験的な活動を促す具体例】(3年)</p> <p>○ 別冊「まなび」の中で，「やってみよう」のマークとともに発問を記載し，役割演技を促している。</p> <p>・男の子と「ぼく」の役になって，二人の男の子とぶつかった時の「ぼく」の気持ちのちがいを考えましょう。</p>

	<p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ツヨシの目」 ○ 「A 正直, 誠実」 ○ 友だちの作品をこわしてしまった主人公を演じて気持ちを考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「まなび」の中で, 「やってみよう」のマークとともに発問を記載し, 役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「そんなことする子じゃないよ!」と言われたノリコの役をえんじて, その気持ちを考えてみましょう。
<p>教出</p>	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「スキル」のマークで目次及び該当ページに示されたり, 教材の中に, 「やってみよう」のマークで示されたりしている。 （「スキル」・・・2年 3教材 1・3・4・5・6年 2教材 「やってみよう」・・・1年 3教材 2年 8教材 3年 12教材 4年 10教材 5年 3教材 6年 4教材） <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの『わ』」 ○ 「B 親切, 思いやり」 ○ 車いすに乗っているひろみさんと「わたし」を演じて感じたことを考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の途中の「やってみよう①②③」のコーナーに, 場面の状況を示した挿絵とともに発問を記載し, 役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひろみさんをつつだう場面をえんじてみましょう。 ・ひろみさんがことわる場面をえんじてみましょう。 ・ひろみさんを見守る場面をえんじてみましょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ほっとけないよ」 ○ 「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」 ○ くつつをかくしたゆかさんと「わたし」を演じて感じたことを考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わりの「やってみよう」のコーナーに, 発問を記載し役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょにくつつ箱に向かいながら, 「わたし」とゆかさんはどんな会話をしたでしょう。「わたし」とゆかさんの役になってえんじてみましょう。
<p>光村</p>	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「えんじて考えよう」のコーナーの中で, 「友だちがえんじるのを見ながら, 考えよう。」と学習活動が示されている。(各学年 1教材) <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持ってあげる? 食べてあげる?」 ○ 「B 親切, 思いやり」 ○ みさちゃんやたけし君に頼まれた時, どのように行動すればよいかを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の中に, 2つの場面を示し, 発問とともに役割演技を促している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」の「やさしさ」について、どう思いますか。 ・みきに「重いから、持って。」と言われたとき、「わたし」は何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「みき」を、えんじてみましょう。 ・「わたし」は、たけしに何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「たけし」をえんじてみましょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（４年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「土曜日の学校」 ○ 「B 礼儀」 ○ 内山さんにどのように質問するかを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（４年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わりのコーナーに、発問を記載し役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・健さんは、内山さんに、どのように質問し直したのでしょうか。えんじてみましょう。
<p style="text-align: center;">日文</p>	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「劇をしたり、体を動かしたりして考える」マークで、目次及び該当ページに示されている。（１年 ４教材 ２・３・４・５・６年 ２教材） <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（３年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お父さんからの手紙」 ○ 「D 生命の尊さ」 ○ 「誕生日」の場面での気持ちを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（３年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の手引き」に、めあてを示し、挿絵・写真とともに発問を記載し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・たんじょう日においおいをしているお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんになって、健一に声をかけてみましょう。健一はどんなことを考えているでしょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】（４年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「金色の魚」 ○ 「A 節度、節制」 ○ おじいさんに願いごとをされる金色の魚を演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】（４年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の手引き」に、めあてを示し、挿絵・写真とともに発問を記載し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・よくばりなところについて、金色の魚になりきって考えてみよう。 ・おじいさんをお願いごとをされるたびに、金色の魚はどんなふうを考えるようになっていったでしょう。 <p style="padding-left: 40px;">新しいおけ 新しい家 お金持ち 女王様 海の王様</p>
<p style="text-align: center;">光文</p>	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことが生活の場での体験につながるよう、体験的な学習を促す教材が掲載されている。 ○ コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築にむけて、コラム「み

	<p>んなでやってみよう」が掲載されている。(各学年 1教材)</p> <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはしの使い方」 ○ 「B 礼儀」 ○ 礼儀について学習した後、和食のマナーであるはしの正しい使い方をやってみて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはしのつかい方」と示し、正しい箸のもち方や取り方がイラストとともに示されている。 ○ 当たり前のように使っている箸の使い方を見直すよう促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のしょくじで当たり前のようにつかっている「おはし」。正しいつかい方ができているか、見直してみましょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉のキャッチボール」(ナイスボールをなげよう) ○ 「B 相互理解, 寛容」 ○ 2つの場面で、ナイスボール(相手の気持ちも考えた言葉)を考え、演じる活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「サッカーの試合」「そうじの時間」の場面で、それぞれ2通りの会話を提示し、どちらがよいか考えさせたり、発問を記載して役割演技を促したりしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・②を友だちどうしてやってみましょう。 ・①「ナイスボール」が返ってくるように、言葉をなげてください。 ・②「言葉のキャッチボール」をつづけてみましょう。
学研	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」のマークで、目次及び該当ページに示されている。 (1年 4教材 2年 2教材 3年 3教材 4年 1教材 5年 1教材 6年 1教材) <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「貝がら」 ○ 「B 友情, 信頼」 ○ 教材の主人公「ぼく」が中山君にどのように話すかを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の終わりに、「やってみよう」のマークや「役わりえんぎ」のイラストとともにめあてと発問が記載されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。 ・えんぎする人は自由にえんじてみましょう。 ・見る人は自分ならどう言うか、考えながら見ましょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「泣いた赤おに」 ○ 「B 友情, 信頼」 ○ 赤おにと青おにを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の終わりに、「やってみよう」のマークや「役わりえんぎ」のイラストとともに

	<p>にめあてと発問が記載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「泣いた赤おに」では、どんなことが気になりましたか。特に気になった場面や、印象に残った場面などをえんぎして、さらに深く考えてみましょう。 <p>話の続きを考える 青おにをたたくまねをしている赤おに 相談している赤おにと青おに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人は自分ならどう言うか、考えながら見ましょう。
<p>廣 あかつき</p>	<p>【体験的な学習の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーに、学習を広げる内容として、「活どうしよう」のマークが示されている。 (3年 5教材 4年 6教材 5年 4教材 6年 2教材) <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「あめ玉」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 女の子たちの行動とそれを見た「わたし」の思いを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」内容として、マークとともに発問を記載し、役割演技を促している。 ・女の子(お姉さん)と妹のやり取りを役わりを交代しながらえんじてみましょう。 えんじることで、それぞれの気持ちを感じ取りましょう。 <p>【教材名等・内容項目・体験的な活動の概要】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「もどらない本」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ ゆみえとひさしのやり取りを演じて考える活動 <p>【体験的な活動を促す具体例】(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室でのゆみえとひさしのやり取りを、役わりを交代しながらえんじてみましょう。えんじることで、それぞれの言い分と思いを感じ取りましょう。

【種目名】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤分量や教材の数
方 法	○判型, ページ数, 四つの視点ごとの教材数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【判型】…全学年AB型 【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…128 (A10, B9, C9, D6)</p> <p>○第2学年 ページ数…146 (A10, B8, C10, D7)</p> <p>○第3学年 ページ数…168 (A9, B8, C11, D7)</p> <p>○第4学年 ページ数…172 (A9, B8, C11, D7)</p> <p>○第5学年 ページ数…184 (A8, B7, C12, D8)</p> <p>○第6学年 ページ数…200 (A8, B7, C12, D8)</p>
学図	<p>【判型】…全学年AB型 (別冊…全学年AB型) 【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…118 (A10, B8, C10, D6) 別冊ページ数…50</p> <p>○第2学年 ページ数…114 (A10, B8, C11, D6) 別冊ページ数…50</p> <p>○第3学年 ページ数…134 (A10, B8, C11, D6) 別冊ページ数…50</p> <p>○第4学年 ページ数…138 (A10, B8, C11, D6) 別冊ページ数…50</p> <p>○第5学年 ページ数…150 (A9, B7, C13, D6) 別冊ページ数…54</p> <p>○第6学年 ページ数…150 (A9, B7, C13, D6) 別冊ページ数…54</p>
教出	<p>【判型】…全学年AB型 【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…134 (A9, B7, C11, D7)</p> <p>○第2学年 ページ数…142 (A9, B8, C10, D8)</p> <p>○第3学年 ページ数…150 (A10, B9, C12, D4)</p> <p>○第4学年 ページ数…162 (A9, B9, C12, D5)</p> <p>○第5学年 ページ数…166 (A8, B6, C13, D8)</p>

	<p>○第6学年 ページ数…170 (A12, B6, C11, D6)</p>
光村	<p>【判型】…全学年B5変型 【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…145 (A10, B8, C11, D5)</p> <p>○第2学年 ページ数…169 (A10, B8, C12, D5)</p> <p>○第3学年 ページ数…185 (A9, B9, C12, D5)</p> <p>○第4学年 ページ数…193 (A9, B9, C12, D5)</p> <p>○第5学年 ページ数…205 (A9, B9, C11, D6)</p> <p>○第6学年 ページ数…221 (A8, B9, C11, D7)</p>
日文	<p>【判型】…全学年AB型 (別冊…全学年AB型) 【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…154 (A11, B8, C13, D5) 別冊ページ数…42</p> <p>○第2学年 ページ数…170 (A11, B8, C13, D6) 別冊ページ数…42</p> <p>○第3学年 ページ数…182 (A11, B9, C12, D6) 別冊ページ数…42</p> <p>○第4学年 ページ数…190 (A9, B10, C13, D6) 別冊ページ数…42</p> <p>○第5学年 ページ数…190 (A8, B9, C14, D7) 別冊ページ数…42</p> <p>○第6学年 ページ数…190 (A9, B8, C13, D8) 別冊ページ数…42</p>

光文	<p>【判型】…全学年A4変型</p> <p>【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…158 (A12, B9, C12, D7)</p> <p>○第2学年 ページ数…166 (A11, B10, C13, D6)</p> <p>○第3学年 ページ数…182 (A7, B12, C14, D7)</p> <p>○第4学年 ページ数…186 (A8, B11, C14, D7)</p> <p>○第5学年 ページ数…190 (A10, B9, C13, D8)</p> <p>○第6学年 ページ数…194 (A10, B8, C13, D9)</p>
学研	<p>【判型】…全学年A4型</p> <p>【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…138 (A11, B8, C9, D6)</p> <p>○第2学年 ページ数…142 (A12, B8, C9, D6)</p> <p>○第3学年 ページ数…154 (A9, B9, C11, D6)</p> <p>○第4学年 ページ数…158 (A9, B9, C11, D6)</p> <p>○第5学年 ページ数…166 (A9, B9, C9, D8)</p> <p>○第6学年 ページ数…170 (A9, B9, C9, D8)</p>
廣 あかつき	<p>【判型】…全学年AB型 (別冊…全学年AB型)</p> <p>【ページ数・四つの視点ごとの教材数】</p> <p>○第1学年 ページ数…118 (A11, B8, C10, D5) 別冊ページ数…44</p> <p>○第2学年 ページ数…118 (A11, B8, C11, D5) 別冊ページ数…52</p> <p>○第3学年 ページ数…126 (A10, B9, C11, D5) 別冊ページ数…52</p> <p>○第4学年 ページ数…138 (A10, B9, C11, D5) 別冊ページ数…52</p> <p>○第5学年 ページ数…162 (A11, B8, C10, D6) 別冊ページ数…56</p> <p>○第6学年</p>

ページ数…170 (A11, B8, C10, D6) 別冊ページ数…56
--

【種目名】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方 法	○いじめ問題の扱いと教材等の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめのない世界へ」を設け、いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材の二つが、一つのユニットとして組み合わせられている。 ○ 「いじめのない世界へ」のとびらのページでは、「いじめ」について投げかけの言葉等が掲載されている。 ○ 「いじめのない世界へ」は、マークを使い、目次及び該当ページに示されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 ユニット <ul style="list-style-type: none"> ・とびらのページ「みんなはともだち」 ・直接的な教材 教材名「ダメ」 ・内容項目「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」 ・友達に「ダメ」といったぼくの気持ちを考えることをとおして、よいと思ったことは勇気をもって行うことについて考えさせる教材 ・間接的な教材 教材名「こころはっぱ」 ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・「ともだちになって」といった動物たちの気持ちを考えることをとおして、友達と進んでかかわり、仲良くすることの大切さを考えさせる教材 ○ 「いじめのない世界へ」のとびらのページ <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「ともだちのことをかんがえて」 ・第4学年「学校を幸せな場所にするのは、だれだろう？」 ・第5学年 やなせたかしさんの言葉
学図	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題について、日常生活で起こりうる問題から考えられる教材が選定されており、「C 公正・公平・社会正義」の内容項目がいじめの問題に向き合う教材の中心として、2教材が選定されている。 ○ 「学級づくり」のページが設けられている。 ○ いじめ問題を考えさせる教材は「ともにいきる」マークを使い、目次の教材及び該当ページに示されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 教材名「のはらのあさごはん」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正・公平・社会正義」 ・たんぼぼから蜜をもらえないみつばちの気持ちを考えることをとおして、公正に接することで、みんなが仲良く笑顔になることを考えさせる教材 ○ 第1学年 教材名「おおい？ すくない？」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正・公平・社会正義」 ・仲良しのうさぎに多くどんぐりをあげるりすやそれを見ている周りの友達の気持ちを考えることをとおして、自分の好き嫌いとらわれないで公平に接することの大切さを考えさせる教材 ○ 「学級づくり」のページ <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「やまびこゲーム」

	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年「つながりビンゴ」 ・第5学年「わたしはだれでしようゲーム」
教出	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材が選定されている。 ○ 第2・4・5学年において学ぶ前に問題意識をもたせるための、拡大導入ページが設けられている。 ○ いじめの問題を考えさせる教材は「みんなとなかよくする」マークを使い、目次の教材及び該当ページに示されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 直接的な教材 教材名「ねずみくんのきもち」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 親切, 思いやり」 ・いじわるをされたねずみくんの気持ちを考えることをとおして, 人に親切にすることの大切さについて考えさせる教材 ○ 第1学年 間接的な教材 教材名「いっしょにかえろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・わたしと友達のなっちゃんが仲良くしている気持ちを考えることをとおして, 友達と進んでかかわり, 仲良くすることの大切さを考えさせる教材 ○ 拡大導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「なかまはずれをなくすために」 ・第4学年「いじめについて考えよう」 ・第5学年「差別のない社会へ」
光村	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 呼びかけ, 教材, コラムで一つのユニット「いじめを許さない心」が設けられている。 ○ いじめの問題を考えさせる教材は「いじめを許さない心」マークを使い, 該当ページに示されている。目次の教材には「いじめを許さない心」と記載されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 ユニット <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけ「ともだちとなかよくすることについて, かんがえましょう。」 ・教材名「あしたはえんそく」 ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・自分の好き嫌いでバスの席を決めようとするうさぎさんの姿をとおして, だれにでも同じように接することの大切さについて考えさせる教材 ・教材名「やめなさいよ」 ・内容項目「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」 ・間違っただけを行って友達を正すわたしの姿をとおして, よいことと悪いことを判断し, よいと思ったことは勇気をもって行うことの大切さを考えさせる教材 ・コラム「こんなこと, してない？」 ○ コラムは, 自分を振り返ったり, いじめを見つけたときどう行動したらよいか考えさせたりする内容となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年では「いやな気持ちかもしれないよ」 ・第4学年では「いじめを見つけたら」 ・第5学年では「おたがいを大切にしよう」
日文	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「人との関わり」をテーマに, いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材と

	<p>関連するコラム「心のベンチ」で一つのユニットを設け、学期に1回扱われている。ユニットの一つは「いじめをなくすために」と記載されている。</p> <p>○ 「いじめの防止」に関わる教材の一部で、「学習の手引き」として問題解決的な学習や、役割演技を用いた体験的な学習等が取り入れられている。</p> <p>【教材例】</p> <p>○ 第1学年 ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材名「やめろよ」 ・内容項目「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」 ・いじめをしているこんきちに恐いけれど「やめろよ。」と言ったぼんたの気持ちを考えることをとおして, よいことと悪いことを判断し, よいと思ったことは勇気をもって行うことの大切さを考えさせる教材 ・教材名「あなたって どんな人？」 ・内容項目「A 個性の伸長」 ・友達一人一人のよさについて考えさせる教材 ・コラム「わたしは〇〇名人・〇〇はかせ」 <p>○ コラム「心のベンチ」は, いじめをなくすためにどう行動したらよいか, 傍観者はどうして生まれるのか等について考えさせる内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「みんなでかいけつ」 ・第4学年「なくそう! いじめ」 ・第5学年「いじめの傍観者」
<p>光文</p>	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <p>○ いじめの防止について直接的に扱う教材と, 間接的に扱う教材が複数選定されている。</p> <p>○ コラム「みんな仲よし 楽しい学校」が設けられ, ちびまるこちゃんのキャラクターで統一されている。</p> <p>○ いじめの問題を考えさせる教材は「いじめを生まない心」マークを使い, 目次に示されている。</p> <p>○ 重点主題を各学年選定し, 教材が連続的に扱われている。その中で「いじめを生まない心」マークが第2, 3, 5学年に選定されており, 考えさせたいことがとびらページに記載されている。</p> <p>【教材例】</p> <p>○ 第1学年 直接的な教材 教材名「ぶうたのやくめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・自分の好き嫌いであめを配る数を変えようかと迷うこぐまのぶうたの姿をとおして, だれにでも同じように接することの大切さについて考えさせる教材 <p>○ 第1学年 間接的な教材 教材名「二わのことり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・やまがらの家に行こうか, うぐいすの家に行こうか迷うみそさざいの気持ちを考えることをとおして, 友達の気持ちを考え仲良くすることの大切さを考えさせる教材 <p>○ コラム「みんな仲よし 楽しい学校」は, 学校生活の中で, 自分がどのように行動したらよいか考えさせる内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「どんなクラスにしたいかな？」 ・第4学年「いつも同じグループでいいのかな？」 ・第5学年「思い切って言ってみたら…」

<p>学研</p>	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの防止をテーマとして直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材が複数選定されている。 ○ 「公正、公平、社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「友情、信頼」等の内容項目においても教材が選定されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 直接的な教材 教材名「うんどうぐつ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 ・友達の運動靴を隠すところを見つけたぼうが「くつ、だしてあげなよ。」と言おうかと迷う姿をとおして、よいことと悪いことを判断し、よいと思ったことは勇気をもって行うことの大切さを考えさせる教材 ○ 第1学年 間接的な教材 教材名「となりのジェニーちゃん」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 国際理解、国際親善」 ・フィリピンから来た転校生のジェニーちゃんと、言葉は通じないが仲良くなったしんやの姿をとおして、他国の人々や文化に親しむことの大切さを考えさせる教材 ○ 第5学年 直接的な教材 教材名「いじめをなくすために」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・二つのメッセージをとおして、いじめについて正面から向き合うこと、生命を尊ぶということについて考えさせる教材
<p>廣 あかつき</p>	<p>【いじめ問題の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低・中学年では「仲間はずれ」「友達同士のトラブル」等、いじめを間接的に扱った教材が選定され、高学年ではいじめを直接的に扱った教材も合わせて選定されている。 ○ 「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情、信頼」「公正、公平、社会正義」等の内容項目においても教材が選定されている。 <p>【教材例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年 間接的な教材 教材名「二わのことり」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・やまがらの家に行こうか、うぐいすの家に行こうかと迷うみそさざいの気持ちを考えることとおして、友達の気持ちを考え、仲良くすることの大切さを考えさせる教材 ○ 第4学年 間接的な教材 教材名「同じ仲間だから」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・運動が苦手な光夫を仲間はずれにしようとしていることに気付いたとも子の心の動きをとおして、友達の大切さについて考えさせる教材 ○ 第5学年 直接的な教材 教材名「金曜日の班活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 ・自分の役割を友達にやらせるという班活動で起こった問題をとおして、よいことと悪いことを判断し、よいと思ったことは勇気をもって行うことの大切さを考えさせる教材

【種目名】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑦巻頭, 巻末等の取扱いの工夫
方 法	○巻頭, 巻末等の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年, 「これから一年間で学ぶこと」として, 四つの視点ごとに教材名が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「道徳の学習を進めるために」が, 見開き2ページで示されている。 ○ 第2学年からは, 「道徳の時間が始まるよ!」が折り込み4ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「学習の記録」が1ページ, 「学習のふり返り」が2ページ, 「これからはかがやく自分に!」が1ページ設けられている。 ○ 各学年, 各教科等における道徳教育と関連する付録が6ページ示されている。 ○ 「学習のまとめ」のページが, 学期ごとに色分けされ, 第1学年は2ページ, 第2学年からは3ページ設けられている。
学図	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 四つの視点で色分けしたマークとともに, 掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年, 「道徳の学習を始めよう」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「学級づくり」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年の別冊「まなび」の目次には, 四つの視点で色分けしたマークとともに, 掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年別冊「まなび」には, 「まなびの道しるべ」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年の別冊「まなび」には, 「教科書『まなび』の使い方」が2ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「ふるさとコラム」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 内容項目別教材一覧が四つの視点別で示され, 関連する現代的な課題等が記載されている。 ○ 別冊「まなび」には「まなびのヒント」として, 話合いの仕方等を第1, 2学年は4ページ, 第3学年以上は2ページで示されている。 ○ 各学年の別冊「まなび」には, 保護者向けに四つの視点の内容とともに, めざすこと, 教材が示されている。
教出	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 四つの視点で色分けしたマークとともに, 掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年, 「道徳の学習が始まるよ」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「道徳ではこんな学習をするよ」が見開き2ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「学びの記録」が3ページ, 「1年間の道徳の学習を振り返ろう」が1ペ

	<p>ージ設けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1, 2学年には、「みにつけよう れいぎ・マナー」が4ページで示されている。 ○ 各学年, 内容項目別教材一覧が四つの視点別で示され, 現代的な課題との関係, 他教科・領域との関係, 第3学年からは「まなびリンク」のマーク等が記載されている。
光村	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前には, いのちをテーマにした詩が見開き2ページで掲載されている。 ○ 各学年の目次には, 学習のまとまりを表すマークとともに, 掲載されているすべての教材名が示されている。 ○ 第2学年からは, 「この本で学ぶ皆さんへ」が1ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5, 6学年には, 「あなたへのメッセージ」が1ページで示されている。 ○ 人より良い関係を築くための付録が, 第1学年～4学年は1ページ, 第5, 6学年は2ページで示されている。 ○ 各学年, 内容項目別教材一覧が四つの視点別で示され, 現代的な課題等との関わり, 他教科・領域との関わりが記載されている。
日文	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 四つの視点で色分けをし, 掲載しているすべての教材について, 第1学年は教材の内容に関するイラストで, 第2学年以上は教材名で示されている。 ○ 各学年, 「道徳のとびら」が見開き2ページで示されている ○ 各学年, 「道徳の学び方」が見開き2ページで示されている。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には, 各学年, 四つの視点で色分けをし, 掲載されているすべての教材について, 第1学年はカルタ風のイラストを1ページで, 第2学年からは教材名が見開き2ページで示されている。 ○ 別冊「道徳ノート」には, 道徳ノートの使い方等が, 第1学年は1ページで, 第2学年以上は目次の下に見開き2ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「あすをみつめて」が1ページで示されている。 ○ 各学年, 内容項目別教材一覧表が四つの視点別で示され, 他教科等との関連がマークとともに記載されている。 ○ 各学年の別冊「道徳ノート」の目次には, 四つの視点で色分けし, すべての教材名が示されている。
光文	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 四つの視点で色分けをし, 掲載されているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年, 「さあ, 道徳の学習が始まります」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「道徳の時間は, こんな時間です」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「いろいろな場面で…」が見開き2ページで示されている。 ○ 各学年, 「この本の使い方」が見開き2ページで示されている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目別教材一覧が四つの視点別で示され, 現代的課題との関係や関連性のある内容項目等が記載されている。

	○ 各学年，折り込みで「学びの足あと」が設けられている。
学研	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前には，詩が見開き2ページで掲載されている。 ○ 各学年の目次には，四つの視点で色分けをし，掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年，四つの視点ごとの教材一覧が見開き2ページで設定されている。 ○ 「自分のことを書いてみよう」が見開き2ページ設けられている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年，内容項目別教材一覧が四つの視点別で示されている。 ○ 各学年，「心の宝物」が1ページ設けられている。
あかつき	<p>【巻頭等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には，掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 各学年，詩が1ページで掲載されている。 ○ 第1学年は，「どうとくのじかんは」が1ページ，第2学年以上は「道徳の時間はこんな時間」が3ページで示されている。 ○ 別冊「道徳ノート」の各学年の目次には，四つの視点で色分けをし，掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 「今の自分を見つめて」が1ページ設けられている。 <p>【巻末等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年，内容項目とともに，掲載しているすべての教材名が示されている。 ○ 第3学年からは，教材と関連して学びを深める特集のページが6ページで示されている。 ○ 各学年，四つの視点ごとに色分けされた教材一覧が見開き2ページで示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年，別冊「道徳ノート」には，折り込みで「心のしおり」を設けている。

【種目名】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方 法	○マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 「出会う・ふれ合う」のマークが設定されている。 ○ 第3学年以上は「つながる・広がる」のマークが設定されている。 ○ 第3学年以上は、「問題を見つけて考える」のマークが設定されている。 ○ 「いじめのない世界へ」のマークが設定されている。 ○ 「情報モラル」のマークが設定されている。 ○ キャラクター「こころん」が設定されている。 ○ 「Dマーク」を設定し、QRコードが示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、四つのうちの該当する視点が示されている。 ○ 「出会う・ふれ合う」は、コミュニケーション活動による相互を深める学習ができることについて示されている。 ○ 「つながる・広がる」のマークは、各教科等との関連付けが取り入れられていることについて示されている。 ○ 「問題を見つけて考える」のマークは、問題解決的な学習ができることについて示されている。 ○ 「いじめのない世界へ」のマークは、いじめをしない、許さない心を育てることができ学習であることが示されている。 ○ 「情報モラル」のマークは、情報モラルを扱った教材であることが示されている。 ○ キャラクター「こころん」を使い、第1、2学年は教材の始めに、第3学年以上は教材の終わりに発問が示されている。 ○ インターネットを活用して内容に関連した動画を見ることができる教材が「Dマーク」で示されているとともに、教科書裏の表紙にQRコードが示されている。
学図	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークとは他の色で示されている。 ○ 「!きづき」「?まなび」のマークが設定されている。 ○ 「ともにいきる」のマークが設定されている。 ○ 「情報モラル」のマークが設定されている。 ○ 「コラム」が旗の色で示されている。 ○ 別冊「まなび」には、「こころのパレット」のマークが設定されている。 ○ 別冊「まなび」には、「かんがえよう」「みつめよう」「やってみよう」のマークが設定されている。 ○ 別冊「まなび」には、「つなげていこう」のマークが設定されている。 ○ 別冊「まなび」には、鉛筆マークが設定されている。 ○ QRコードが示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の上に、四つのうちの該当する視点が示されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「!きづき」は本冊, 「?まなび」は別冊に示されている。 ○ いじめをなくすことや, 周りの人との関係について深く考える教材には, 「ともにいきる」のマークが示されている。 ○ 情報モラルを扱った教材には, 「情報モラル」のマークが示されている。 ○ 関連する補助資料としての読み物コラムには, 「コラム」のマークが示されている。 ○ 別冊「まなび」において, 主に授業の導入等で活用する教材には, 「こころのパレット」のマークが示されている。 ○ 別冊「まなび」において, 中心発問には「かんがえよう」, 後段での発問には「みつめよう」, 体験的な学習活動には「やってみよう」のマークが示されている。 ○ 別冊「まなび」において, 授業を振り返る自己評価のコーナーには, 「つなげていこう」のマークが示されている。 ○ 別冊「まなび」において, 自分や友達の考えを書く欄には, 「鉛筆」のマークが示されている。 ○ 各教材及び巻末に, 補助資料にリンクするQRコードが示されている。
<p style="text-align: center;">教出</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 現代的な課題等に対応する教材が, マークで示されている。 ○ 中心的な発問がマークで示されている。 ○ 「スキル」のマークが設定されている。 ○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークが設定されている。 ○ キャラクター「とりどり先生」が設定されている。 ○ 「まなびリンク」のマークを設定し, QRコードが示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に, 四つのうちの該当する視点が示されている。 ○ 現代的な課題に対応するための教材として, 「いじめをなくす」は黄色, 「情報モラル」は青色, 「生命尊重」は赤色の色別のマークが, 目次および該当ページに示されている。 ○ 特に考えてほしいことには, 中心的な発問のマークが示されている。 ○ 体験的な学習のコーナーには, 「やってみよう」のマークが示されている。 ○ 教材ごとに, キャラクター「とりどり先生」による主題へ誘う発問が示されている。 ○ 第3学年以上は, 学習内容一覧に, 児童が学習したり指導資料として活用したりできる教材をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」のマークが示されるとともに, 巻末にQRコードが示されている。
<p style="text-align: center;">光村</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間を三つのまとまりに分けた「学習のまとまり」がマークで示されている。 ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 「コラム」がマークで示されている。 ○ 「考えよう・話し合おう」のマークが設定されている。 ○ 第2学年以上は, つなげようのマークが設定されている。 ○ キャラクター「こころん」「きらりん」が設定されている。 ○ QRコードが示されている。 <p>【活用の具体例】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態に即して、1年間を三つのまとまりに分け、色別のマークで示されている。 ○ 主題名の上に、四つのうちの該当する視点が示されている。 ○ 特に大事に考えたい問いには、二重丸のマークが付けられている。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容について、「コラム」マークが示されている。 ○ 主題名の下に、キャラクター「こころん」を通して児童と教材を結びつける問いかけが示されている。また、教材の最後に、キャラクター「きらりん」を通してめあてに沿った発問が示されている。 ○ 巻頭や教材の下に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクするQRコードが示されている。
<p style="text-align: center;">日文</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 教材の学び方がマークで示されている。 ○ キャラクター「ココロウ」が設定されている。 ○ キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」が設定されている。 ○ 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」のマークが設定されている。 ○ ふろく教材には、「ふろく」マークが示されている。 ○ コラム「心のベンチ」のマークが設定されている。 ○ 「教科書デジタルコンテンツ」のマークが設定されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点が示されている。 ○ 目次では、教材名の下に体験的な学習や問題解決的な学習を示すマーク、体験したことを生かして考えるマーク及びホームページに参考資料があることを示すマークが学び方マークとして示されている。 ○ 教材に入り込むきっかけとなる発問が、学習をガイドするキャラクター「ココロウ」とともに示されている。 ○ 教材の終わりに、キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」が、学習をガイドしている。
<p style="text-align: center;">光文</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点及び各学年で特に考えたいことがマークで示されている。 ○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「トリー」「わんだ先生」が設定されている。 ○ 「命をかがやかせる」「いじめを生まない心」「情報社会を生きる」のマークが設定されている。 ○ 「まとめる」「ひろげる」マークが設定されている。 ○ 「みんなでやってみよう！」のマークが設定されている。 ○ 「情報モラル」「コラム」のマークが設定されている。 ○ 「みんな仲よし楽しい学校」のマークが設定されている。 ○ 「ことばのたからもの」のマークが設定されている。 ○ 第3学年以上は、「オリンピック・パラリンピック」のマークが設定されている。 ○ 「学びの足あと」のマークが設定されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名に該当する四つの視点とともに、各学年で特に考えたいことが示されてい

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の思考をサポートするキャラクターを通して、考えるためのポイントや考えを広げるための見方等が示されている。 ○ 教材の終わりに、「まとめる」「ひろげる」マークを使い、学習を振り返り、授業後につなげる発問が示されている。 ○ よりよい人間関係の構築に向けたコラムには、「みんなでやってみよう！」のマークが示されている。 ○ 児童自らがいじめの防止等に主体的にかかわる態度をはぐくむためのコラムは、キャラクターやイラストを使って示されている。 ○ 語彙の獲得にもつなげるための名言や格言を紹介する「ことばのたからもの」がマークで示されている。 ○ オリンピック・パラリンピックを題材とした教材は、オリンピック・パラリンピックマークが示されている。また、授業の記録を記入する「学びの足あと」がマークで示されている。
<p>学研</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 最重点テーマと重点テーマがマークで示されている。 ○ キャラクター「明日香」「未来」が設定されている。 ○ 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のマークが設定されている。 ○ 「考えよう」のマークが設定されている。 ○ 考えたことを書く欄には、鉛筆のマークが設定されている。 ○ 家の人に書いてもらう欄には、家のマークが設定されている。 ○ 情報モラルのマークが設定されている。 ○ インターネットにつながるマークを設定し、QRコードが示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、四つのうちの該当する視点がマークで示されている。 ○ 最重点テーマの「いのちの教育」を扱ったユニット教材には「いのち」のマークが示され、2学年ごとの重点テーマを扱ったユニット教材をキーワードを使ったマークで示されている。 ○ 「学び方のページ」として、学習を広げ、深めるページに示されている。 ○ 各教材の最後に、「考えよう」のマークを使い、発問が示されている。 ○ 自分の思いや考えを書き込む欄を示されている。 ○ 情報モラルを扱った教材には、情報モラルのマークが示されている。
<p>廣 あかつき</p>	<p>【マーク・キャラクター等の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点がマークで示されている。 ○ 第3学年以上には、教材と関連して、学びを深めるための特集のページであることが葉のマークで示されている。 ○ 第3学年以上には、「学習の道すじ」を表すマークが示されている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、鉛筆のマークが設定されている。 ○ 第3学年以上には、「インターネット」のマークが示されている。 <p>【活用の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の下に、四つのうち該当する視点が示されている。 ○ 第3学年以上は、学びの手がかりとなる「考えよう 話し合おう」のコーナーに

	は、「学習の道すじ」及び「学習を広げる」の上に虫めがねのマークが示され、学習のめあて等が示されている。
--	---

【種目名】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方 法	○話し合いを促す示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <p>○ 巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、「考える 話し合う」活動が示され、「話し合いの約束」として、話し合いのポイントを示されている。(第1学年から、話し合いのポイントを「聞く」「話す」とともに3点挙げている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 聞くときは…話す人のほうを見て、最後まで聞こう。 話す人がなにを言いたいのか、考えながら聞こう。 自分の考えと比べながら聞こう。 話すときは…みんなに向かって聞こえる声で、最後までしっかり話そう。 みんなに話が伝わるように、くふうして話そう。 考えの理由も話そう。 ○ 巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう」の中にショートストーリーを例とし、自分の考えを持つ活動を設定し、話し合いの状況が示されている。(第2学年から示されている。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 健太たちに注意されて、由美はどんなことを思ったでしょう。 …自分だったらと考えると、どうかな。 わたしの考えと同じだ。 人によっていろいろな考えがあるんだな。 ぼくとはちがう考えだけど、参考になるな。 ○ 教材の終わりに、議論させることを促し、多様な考えを引き出すための活動が示されている。(第3学年から示されている。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 「白旗の少女」… 国際理解や親善のために、わたしたちにどんなことができるか、話し合ってみましょう。 「手品師」… たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師の思いについて書いて、話し合ってみましょう。
学図	<p>【話し合いを促す示し方】</p> <p>○ 巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合いの状況が示されている。(低学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> クラスのみんなは、どう考えたでしょう。いろいろな考え方を話し合ひましょう。 …ぼくだったら、こうするよ。 なるほどね。 わたしは、こうしたほうがいいと思うな。 ほかの考え方がありませんか。友達と出し合ってみましょう。 ○ 別冊「まなび」の巻末に「まなびのヒント」のページを設け、上手な話し方・聞き方、上手な話し合いのポイントが示されている。(第1学年から同様にポイントが示さ

	<p>れている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) 上手な話し方・きき方 話すとき… 相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。 自分の話していることが、相手につたわっているかをたしかめるために、きき手の様子をたしかめながら、はっきり、間を置いて話しましょう。 きくとき… 友達が話しているときには、その人の話をただきくだけでなく、何を伝えようとしているのか。 どんなことを強調しているのか。 など、話し手の意図していることを感じ取ったり、共感したり、疑問に思ったり、考えたりしながらきくことを心がけましょう。 上手な話し合い… 「話し合い」は「きき合う」ことから始まります。まずは、相手の言葉を聞くことを大切にしましょう。自分の考えを相手に伝えるために、話し方もくふうしましょう。 <p>○ 別冊「まなび」の中に、「考えてみよう」「やってみよう」のマークを使い、教材における話し合いの場面が示されている。(第2学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) 「けんきょな心, 広い心」 自分の考えを相手に伝えるとともに、相手のかんがえもしっかりときき、おたがいに認め合うことで理解が深まります。 …すなおな気持ちで向き合ってみて。 相手の立場に立ってみて。 ちがう意見も受け止めてみて。
<p>教出</p>	<p>○ 巻頭の「○年生の道徳の学習が始まるよ」の中に、話し合いの意義や活動について示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) 道徳にも難しい問題があります。意見が対立することもあります。そのとき、相手の立場を尊重しながら、自分の思いや考えを発表し、相手の考えを聞いて、話し合いを続けることが大切です。 <p>○ 巻頭の「道徳ではこんな学習をするよ」の「考える」の中に、「話し合って考えよう」として、話し合いのポイントが示されている。(低学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) 授業の中で考えたことを話し合おう。自分の考えを伝えるときは、大きな声で話そう。友達の考えは最後までしっかり聞いて、自分の考えと比べてみよう。 <p>○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、話し合いのための具体的な状況が示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) 「絵地図の思い出」… これからの友達関係で大切にしていきたいのは、どのようなことですか。グループで話し合ひましょう。 「友達だからこそ」… みなさんが友美さんならくじを交換しますが、しませんか。ちがう立場の人と話し合ひてみましょう。
<p>光村</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間は」の中に、「考えよう」というキーワードを用いた学習活動の一環として、「話し合って考えよう」で、話し合いの具体的な状況が示されている。</p>

	<p>(第2学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> もっとくわしく教えて。 友達の考えと、自分の考えのいいところを合わせよう。 話し合うことで新しい考えが生まれるね。 ○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」の中に、教材における話し合う活動が示されている。(第1学年から示されている。) ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 「六年生の責任って？」 …あなたのクラスで、この話し合いの続きをしてみましょう。 『働く』ってどういうこと？」 …人は、何のために働くのでしょうか。資料1・2を読んで考えたことや資料3をもとに、話し合しましょう。 ○ 「自分の考えを深めるとき」の中に、自分の考えを表すときや、友だちの考えを受け止める時の言い方が具体的に示されている。(第1学年から示されている。) ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 「相手の気持ちを考えて、言葉をかけよう」 言葉をかけ合ったら、話し合おう。 …自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも考えて言葉をかけると、○○な気持ちになるね。 「人物の性格や人がらを表す言葉」 …人物の性格や人がらを表すときに、役に立つ言葉を集めました。自分が感じたことを、できるだけくわしく相手に伝えられるといいですね。 明るい、陽気だ、ほがらかだ、おとなしい、勇かんだ、…。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の学び方」の「考える・深める」の中に、話し合いの具体的な状況が示されている。(第1学年では写真で、第2学年以降は言葉で示されている。) ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> …前はこう考えていたけれど、今はこんな考えになったよ。 その考えをもう少しくわしく聞かせてよ。 その考え方の、こういうところがすてきだね。 ○ 「学習の手引き」や「心のベンチ」の中に、話し合いの流れが示されている。(第2年から示されている。) ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 「ほんとうのことだけど…」学習の手引き … グループになって、このじょうきょうを解決する方法や、そのもとになる思いを出し合ってみましょう。 ○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、教材における話し合う活動が示されている。(第1学年から示されている。) ・ 具体例 (6年生) <ul style="list-style-type: none"> 「おかげさまで」… 生活の中で、「おかげさまで」と思ったことを発表しよう。 「ぼくだって」… 相手の気持ちを理解し、失敗を許した経験について発表しよう。

<p>光文</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」の中の、学習の手順に話し合う活動を提示し、話し合いのポイントが示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。 … (グループで) 友達の話をよく聞こう。質問や、つけ足しもできるといいね。 (クラスで) 自信がなくてもだいじょうぶ。自分の意見を伝えてみよう。 <p>○ 教材の終わりに、教材における話し合う活動が示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) 「陽子、ドンマイ！」 … 男女関係なく信頼し合い、助け合っていくために、ふだんの生活では、どのようなことを心がけるとよいでしょうか。クラスで話し合いましょう。 「すあしにサンダルの天使—マザー・テレサ—」 … マザー・テレサの生き方から考えたことを、話し合いましょう。
<p>学研</p>	<p>○ 巻頭「道徳の学習が始まるよ」の学習の手順「考える」の中に、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントが示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) …友達といっしょに自分の考えたことを深めよう。 「話し合おう」いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。 <p>○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に「活動」の欄を設け、話し合いのポイントが示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) … グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。 自然と共存していくために、特に大切にしたい心を書いてみましょう。書いたものを読み合い、考えを広げましょう。 <p>○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、話し合う活動が示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) … 様々な命が生きる、かけがえのない地球。「自然とともに生きている」と感じたことを、みんなで話し合いましょう。
<p>廣あかつき</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間はこんな時間」の中に、話し合いの意義やポイントが示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) … みんなで考え、話し合うことによって、物事をさまざまな側面から考えることができたり、新しいものの見方を得られたりすることがあります。話し合いという協働的な学習を通して物事を多面的・多角的にとらえ、いっそう自分の考えを深めましょう。 <p>○ 教材の終わりの「考えよう 話し合おう」の中に、教材における話し合う活動が示されている。(第1学年から示されている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例(6年生) 「ブランコ乗りとピエロ」 … 意見や立場のちがう人たちがたがいに分かり合うためには、どのようなことが大切なのでしょう。

「手品師」

… 手品師はどのように考えて、友人のさそいをきっぱりと断ったのでしょうか。

【種目名】

観 点	言語活動の充実
視 点	㊟考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
方 法	○考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの数等と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に，1時間の授業ごとに色を一コマ塗ったり，学習を振り返って自己評価をマークで描いたりするページが設けられている。また，1年間を振り返ったり，心に残った教材を振り返ってまとめたりするページが設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学習の記録」（35時間分色塗り） 1時間の授業が終わったら，じゅんばんに好きな色をぬろう。</p> <p>○ 「学習の振り返り」（43時間分色塗り） 道徳の学習を振り返ってみよう。当てはまる○に色をぬろう。 1・2年・・・よく考えた。楽しくできた。 3・4・5・6年・・・よく考えた。別の考えに気付いた。自分を振り返った。</p> <p>○ 「これからもかがやく自分に」（記入欄2か所） ○年生になって成長したことは何かな。8ページと比べてみよう。</p> <p>○ 「学習のまとめ」（学期ごとの記入欄3か所 全9か所・長期休業前3回分） 学習のまとめをしよう</p>
学図	<p>【考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 別冊「まなび」に，学習を振り返って自己評価をマークで描いたり，「まなびの道しるべ」に心に残った話等を書いたりする欄が設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「つなげていこう」（35時間分色塗り） 全学年・・・今日の学習について気づきがあった。深く考えた。これからを見つめた。</p> <p>○ 「まなびの道しるべ」（2回分） 心に残った話や，考えたこと，感じたことを書きましよう。</p>
教出	<p>【考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に，学習した日付や教材で心に残ったこと等を記述したり，1年間の道徳の学習で振り返ったことを記入したりする振り返りのページが設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学びの記録」（41時間分日付のみの記入） 学んだことを，振り返りましよう。学んだ日を書きましよう。 道徳のお話で，心に残ったのはどれですか。そのわけも書きましよう。（記入欄3か所）</p> <p>○ 「一年間の道徳の学習を振り返ろう」（記入欄3か所） ①一年間の道徳の学習で，一番大切だと考えたのは，どの時間ででしたか。 ②一年間で，自分の考えや行動どのように変わりましたか。 ③○年生になって，がんばりたいことはなんですか。 (家の人からひとこと)</p>

光村	<p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」とともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する「まとめ」の欄が設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学びの記録」 (1・2年 34・35時間分 色塗り) 今日の道徳の時間を思い出して、次のように、花びらをぬりましょう。 楽しく学べた。たくさんのことを考えられた。友達の発表をよく聞いた。 (3・4・5・6年 35時間分 記入) 一時間ごとに、どんなことを学んだのかや、学んだことについての感想などを記録しましょう。</p> <p>○ 「まとめ」 (1年 1か所, 2～6年 3か所) 一つの学習のまとめが終わったときには、「まとめ」に、それまでふり返って、道徳の時間に学んだことが生かされたと思った出来事や、こんなときに学んだことを生かしていきたいと考えたこと、自分で自分が「変わったな」と思えたことなどを書きましょう。 道徳の時間に学んだことをふり返って、考えたことを「まとめ」に書きましょう。</p>
目文	<p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に学習を振り返って自己評価をマークで描く欄とともに、巻末に、道徳の学習で学んだこと等を記入する、振り返りのページが設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 (38時間分)・・・全学年 しっかり考えた。新しくきづいたことがあった。 これから大切にしたいことが分かった。</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」 (1年のみ2回分) (2～5年4回分)・・・心に残ったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。</p>
光文	<p>【考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に学習した日付、教材番号、授業後の心の動きや学びを記録する欄が設けられている。また、学期末や年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する「まとめ」の欄が設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学びの足あと」(36時間分) 心の矢印・・・授業を受けた後の気持ちを、矢印で表しましょう。 一言・・・そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたいと思ったことを書きましょう。 「まとめ」(3回分)・・・道徳で学んだことを、まとめましょう。</p>

<p>学研</p>	<p>【考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 巻末に，道徳の学習を通して，心に残った言葉や話等を記入し，1年間の学びを振り返るページが設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「心の宝物」</p> <p>（1・2・3・4年 記入欄1か所）</p> <p>道徳の学習をして，心にふえた宝物や心に残った言葉や話を書きとめておきましょう。</p> <p>（5・6年 4つの視点で記入）</p> <p>①自分自身のことについて</p> <p>②他の人とのかかわりについて</p> <p>③集団や社会とのかかわりについて</p> <p>④命や自然とのかかわりについて</p>
<p>廣 あかつき</p>	<p>【考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に，考えたり振り返ったりしたことを書く欄や，巻末に心に残っている授業等について記録するページが設けられている。また，学習を振り返って自己評価をマークで描く折り込みが設けられている。</p> <p>【まとめや振り返りの数等と具体例】</p> <p>○ 「学習の記録」（36時間分）</p> <p>感じたことや考えたこと</p> <p>○ 「話し合い活動の記録」（2～6年 2時間分）新たに感じたことや考えたこと</p> <p>○ 「体験活動の記録」（5・6年 2時間分）感じたことや考えたこと</p> <p>○ 「心に残っている授業の記録」（全学年 4回分）心に残っている理由</p> <p>○ 「心のしおり」（全学年 35時間分色塗り）できたかな</p>